熊谷スマートシティの現状報告
～令和７年度に向けた流れとまちづくりの方向性～

１．スマートシティ関係のＲ５～Ｒ７年度の流れ

１．スマートシティ関係のＲ５～Ｒ７年度の流れ

○**Ｒ５年度**　市民サービスの基盤づくり・デジタルと人の力

（スマートシティ宣言、データ連携基盤、クマぶらの都市ポータル化、クマＰＡＹ・クマポ、バススマホ回数券の実装）

○**Ｒ６年度**　市民がデータを生み出し、活用してのまちづくり参画へ

（コミュニティラボキックオフ、スマートクールシティWS、WebGISプラットフォームなど）



○**Ｒ７年度**　**デジタル産業まちづくりへの着手**

（暑さ対策、ロボット・ドローン含む）

１．スマートシティ関係のＲ５～Ｒ７年度の流れ

○Ｒ７年度　デジタル産業まちづくりへの着手

◎デジタル×暑さ対策・・・まちづくりとの連携を確保する形で維持

（当面の目標）「デジタル実装の優良事例を支えるサービス／システムのカタログ」への掲載を目指す。

◎ロボット、ドローン・・・県庁(仮称)ＳＡＩＴＡＭＡロボティクスセンターなど)、国(秩父市周辺などでのドローン実証)、団体(ロボットビジネス支援機構)などから実証の提案を受けられる素地づくりに取り組む。

- **熊谷市近隣の生活支援ロボメーカーとの連携**
- **まちなかで各種ロボットに触れる機会の増大**(中央公園で芝刈りロボット、星川通りで追従型ロボット、星渓園で水中用ドローンなど。)
- **ロボットの取組の視野には、将来的に自動運転、スマート農業等が普及しやすい土壌づくりも含める。**(逆にそれらの分野の技術でロボットの取組みが発展する効果にも期待。)

１．スマートシティ関係のＲ５～Ｒ７年度の流れ

「JAPAN DX Player AWARD 2024」で熊谷スマートシティが官公庁部門第3位に！

これまでの取組及び今後のビジョンについて、「熊谷スマートシティ　DXを活用し安心して暮らせる気温コンパチブルな都市生活と産業共創」をテーマにエントリーした。その結果、官民連携による特色あるまちづくりが高く評価され、官公庁部門で全国３位となった。



【評価ポイント（予想）】

✓デジタルと人の力を掛け合わせて、日本一と言われる暑さの中でも市民が安心して暮らせるまちづくりに取り組む姿勢

✓年々厳しさを増す暑さへの対策について、熊谷スマートシティが生み出す効果的な暑さ対策の手法を、広く横展開していくビジョン

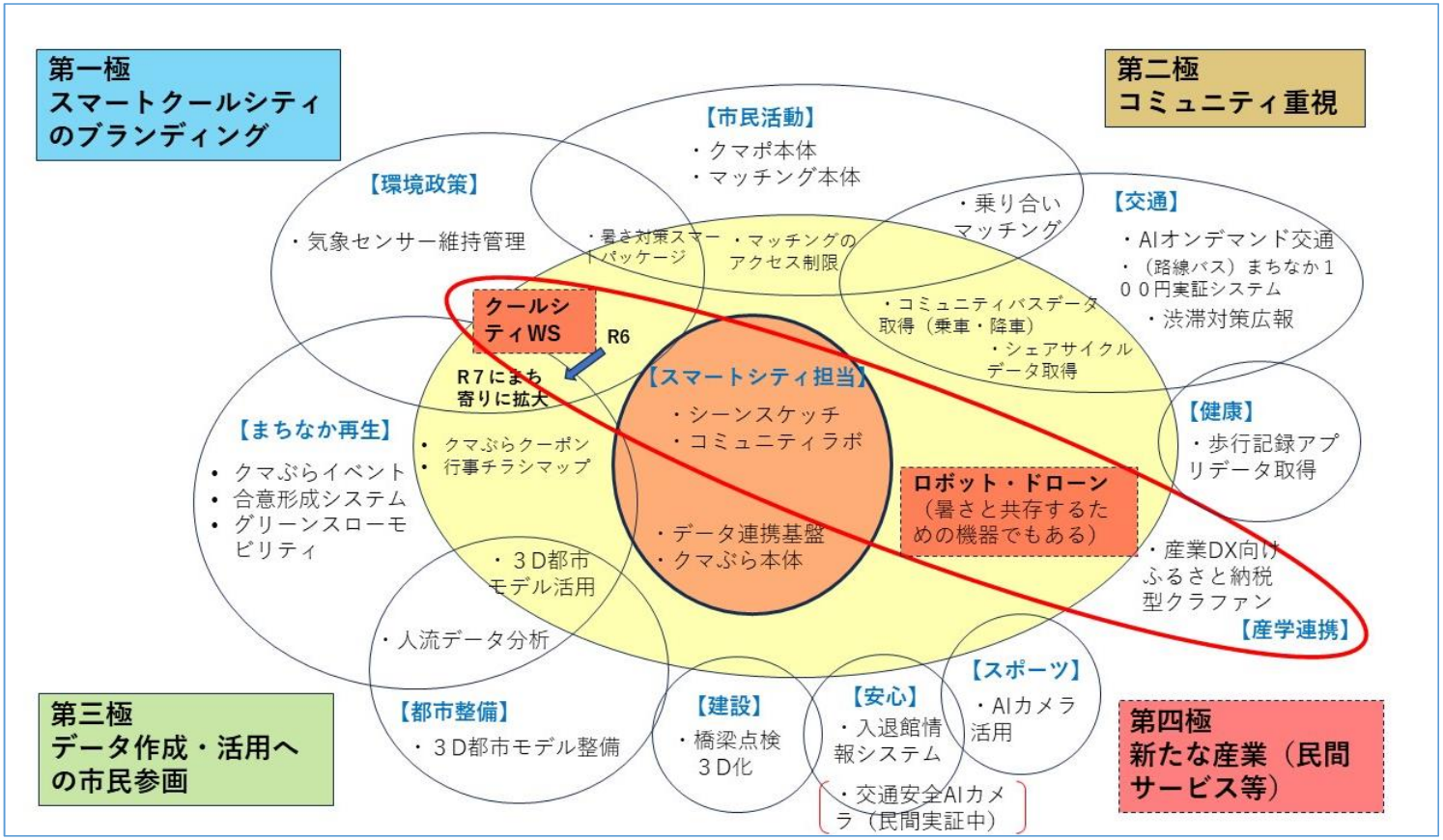
✓官民連携により特色あるまちづくりを推進する熊谷市の姿勢



エントリー動画公開中。右のURLから視聴できます。https://youtu.be/C38xi-Yfg2I

２．熊谷スマートシティのＲ６～Ｒ７の取組イメージ（案）

２．熊谷スマートシティのＲ６～Ｒ７の取組イメージ（案）



Ｒ６～Ｒ７に取組む予定の分野（青字）と取組名称（黒字）の関係性のイメージ図。
円の重なりは、分野にまたがる取組を指す。

【中心】
・スマートシティ担当が担うインフラや公民連携の中心施策

【取組分野】※上から右回り
・市民活動
・交通
・健康
・産学連携
・スポーツ
・安心
・建設
・都市整備
・まちなか再生
・環境政策

- クマぶら：LINEベースの都市ポータルアプリ。熊谷スマートシティの入り口。
- クマポ：コミュニティポイント。円に換算しない相互扶助型のデジタル地域通貨（電子マネー「クマPAY」とは別）
- マッチング：クマポの循環を促すため「クマポプレイス」の名称でスタート。人々の「できること」と「してほしいこと」をマッチングするアプリ

2．熊谷スマートシティのＲ６～Ｒ７の取組イメージ（案）

10/29ベンダー連携調整会議

熊谷スマートシティ実行計画の取組分野別分類

データ利活用	暑さに対応したまち	モビリティ	スポーツ・健康	安全・安心（インフラの維持管理）	産業DX	人材・コミュニティ
		→交通ビジョン（R7年3月予定）			→暑さ起業サポート体制（デジタル実装支えカタログ掲載）	→コミュニティラボ（クラウド）公表
【１】複数年度課題						
人流分析（R6、R7）	暑さ対策関係【継続】	スポ文渋滞迂回ルート広報	スポーツ×AIカメラ（研究先行、交流後追型）	まちづくり情報発信 R7に行事を検討	コミュニティラボ（産業面） R7年度に産業面を加速する行事を検討中	
人流委員会でのデータ活用まちづくりの整理	星川まちなか再生 R7年1月より住民合意形成システム→情報提供上乗せ	AIオンデマンド交通 R6計画⇒R7実装		橋梁点検効率化【継続】	（候補）ドローン・生活支援ロボット	リアルラボ（交流広場）～子供の居場所関係の地元検討あり
市民参画GISPF【継続】		グリーンスローモビリティ R6計画・R7実証			ふるさと納税型クラファン	
					デジくまネクサス（研究会）	
【２】R6実装・定着						
図書館マイナ認証		コミバス降車データ		３D防災シミュレーション【継続】	地産地消Web	学びあいプラットフォーム（講座・教室のオンライン化）
【３】Ｒ７年度要望						
イベントチラシマップ	クマポ活用 暑さ対策スマートパッケージ自動化関係	シェアサイクル連携	コバトンALKOOマイレージ（歩数）連携	交通安全カメラ	スマート農業支援拡充	入退館管理システム（子育て拠点）
思い出化・バッジ	コミュニティラボ スマートクールシティWS	まちなか路線バス活用（100円補助）				コミラボマネジメント支援
		駅発路線バス利便性向上				

※枠なしは予算をかけずに取り組んでいるもの

３．（参考資料）熊谷市のまちづくり

令和６年１０月１０日





熊谷市のまちづくり

データやシステムによる効率化・サービス向上から、デジタルを活用した共創により新時代の産業確保・社会課題解決を目指すステージへ

熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

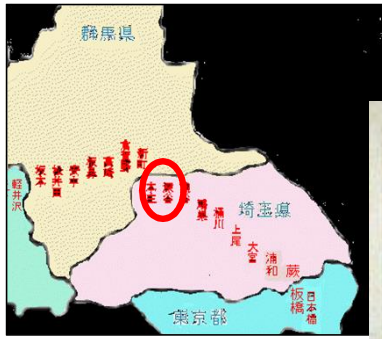
埼玉県北の拠点
熊谷市

～交通の結節点としての役割～

熊谷まちづくり話題提供

人口（世帯数）	191,224 人（90,492世帯）
面積	159.82 ㎢

【令和6年8月1日現在】



（参考）旧中山道
（熊谷宿）



新幹線等による広域アクセス

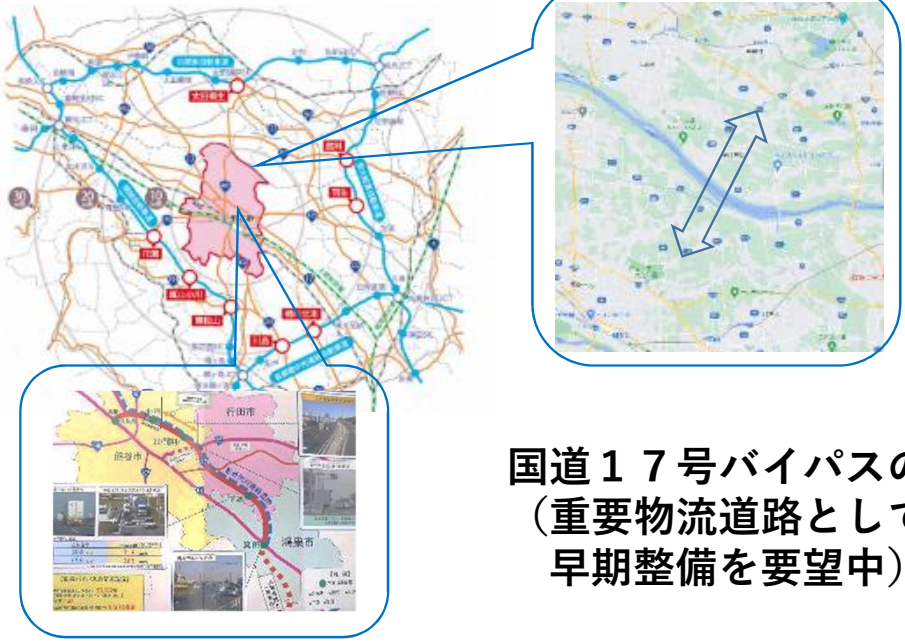


新幹線による通勤支援

■おいでよ、熊谷！新幹線らく賃通勤事業
対象者：40歳未満でR3.4.1以降に熊谷市に転入し、住宅を取得した方。（最長2年間補助）

■大好き熊谷！新幹線らく賃通勤事業
対象者：30歳未満でR3.4.1以降に新規に就職した方

道路アクセスの一層の向上の取組み



県北地域と群馬県・栃木県を結ぶ新橋を含めた幹線道路整備プロジェクト

国道１７号バイパスのフル規格整備（重要物流道路として位置づけ済み・早期整備を要望中）

埼玉県北の拠点

熊谷市

～豊かな歴史・水辺景観・農産物を発信するまちづくり～

熊谷まちづくり話題提供

観光交流拠点

聖天山周辺地区にふさわしい門前町景観まちづくり



国宝
かんぎいんしょうでんどう
歓喜院聖天堂



全国有数の小麦の生産地
小麦の里くまがや

産業拠点

道の駅「くまがや」
「日本を代表する“食”のテーマパーク」整備





都市拠点

まちなかの水辺空間を生かした官民連携のまちづくり



星川夜市
毎月
第二土曜日の
夕刻に開催

新スポーツ拠点

荒川を生かしたまちづくり

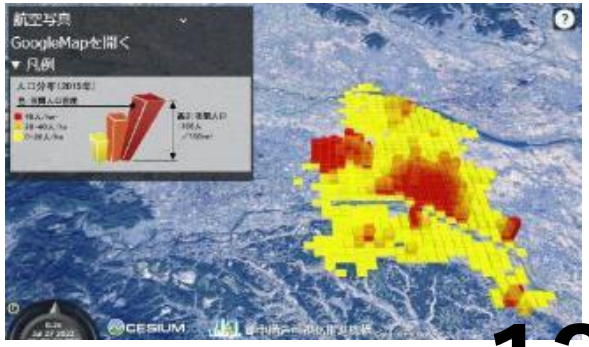
市民体育館／荒川公園／河川敷と、熊谷駅南口の連携



日本さくら名所100選
熊谷桜堤

東京国立博物館蔵
埴輪　踊る人々

データ活用（人口密度の分布）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

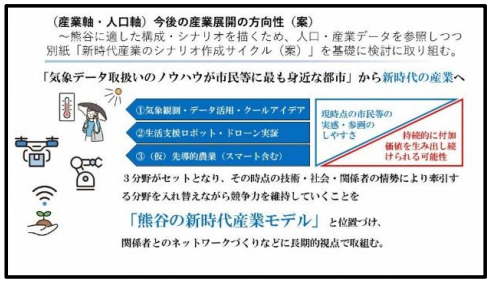
コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

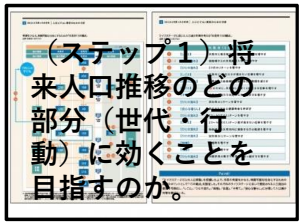
新時代産業（案）に向けた具体の取組み

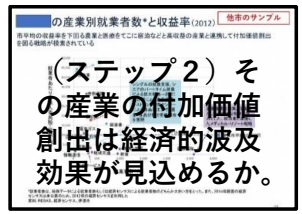
熊谷市のまちづくりに必要な要素

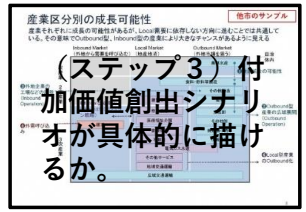
③上昇気流を探す・作り出す取組み。
（産業軸・人口軸）



【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】

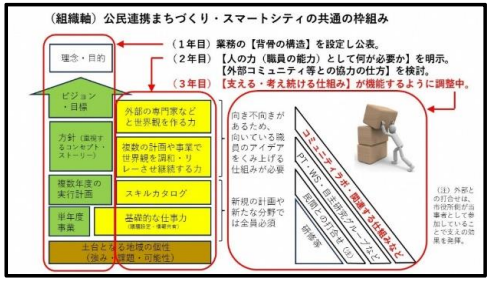






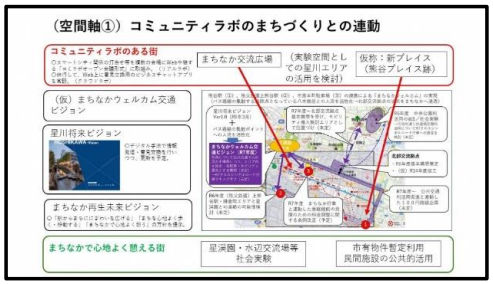


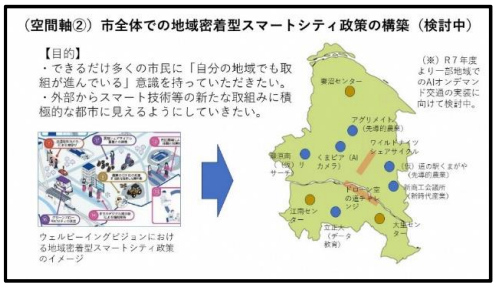
①操縦チームの意思統一・スキル確保の取組み。（組織軸）

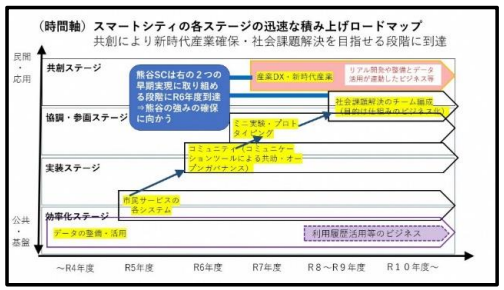


②地図を準備し、常時位置・方向・速度などを確認する仕組み。（空間軸・時間軸）









（組織軸）公民連携まちづくり・スマートシティの共通の枠組み

（１年目）業務の【背骨の構造】を設定し公表。

（２年目）【人の力（職員の能力）として何が必要か】を明示。
【外部コミュニティ等との協力の仕方】を検討。

（３年目）【支える・考え続ける仕組み】が機能するように調整中。

理念・目的

ビジョン・目標

方針（重視するコンセプト・ストーリー）

複数年度の実行計画

単年度事業

外部の専門家などと世界観を作る力

複数の計画や事業で世界観を調和・リレーさせ継続する力

スキルカタログ

基礎的な仕事力
（議題設定・情報共有）

土台となる地域の個性
（強み・課題・可能性）

向き不向きがあるため、向いている職員のアイデアをくみ上げる仕組みが必要

新規の計画や新たな分野では全員必須

コミュニティラボ・関連する仕組みなど

PT・WS・自主研究グループなど

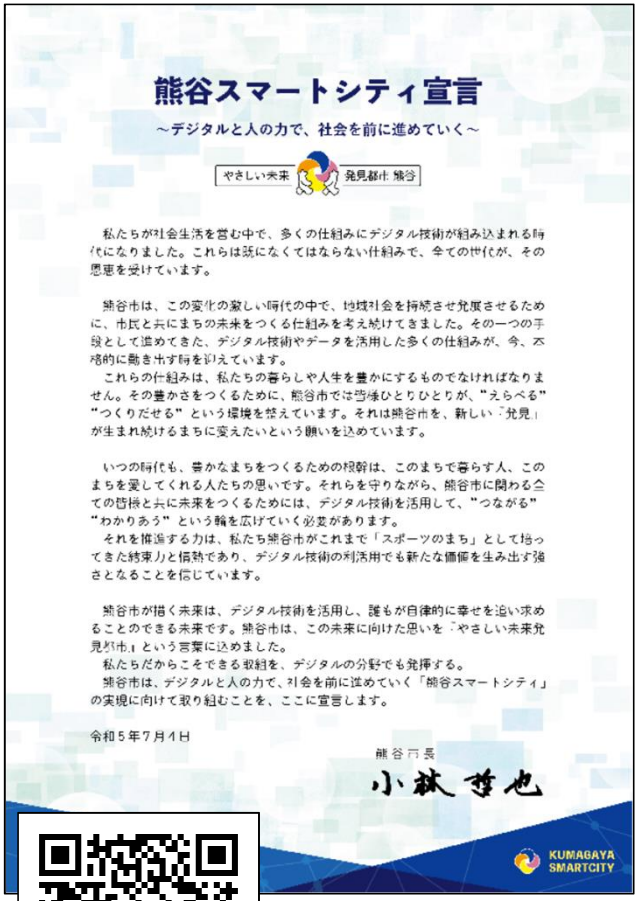
民間との打合せ（注）

研修等

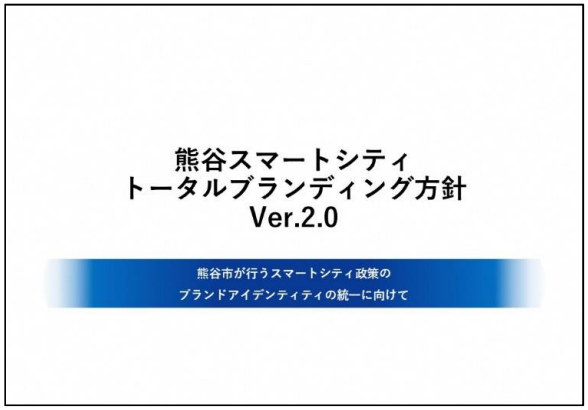


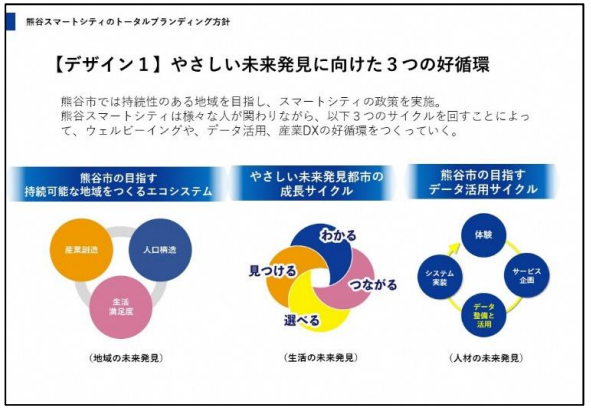
（注）外部との打合せは、市役所側が当事者として参加していることで支えの効果を発揮。

（参考）目指す方向性の共有（公開）の例



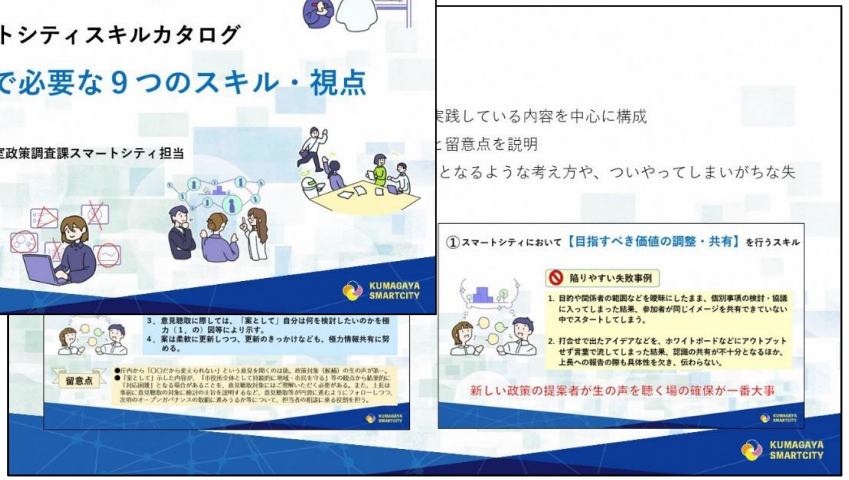
（PDF直結）





（PDF直結）





（空間軸①）まちなかにおけるコミュニティラボと各種まちづくりの連動

コミュニティラボのある街

〇スマートシティ関係の打合せ等を複数の会場にWeb中継する「コミラボオープン会議形式」に取組み。（リアルラボ）
〇併行して、Web上に意見交換用のビジネスチャットアプリを常設。（クラウドラボ）

まちなか交流広場

（実験空間としての星川エリアの活用を検討）

仮称：新プレイス（熊谷プレイス跡）

（仮）まちなかウェルカム交通ビジョン

星川将来ビジョン



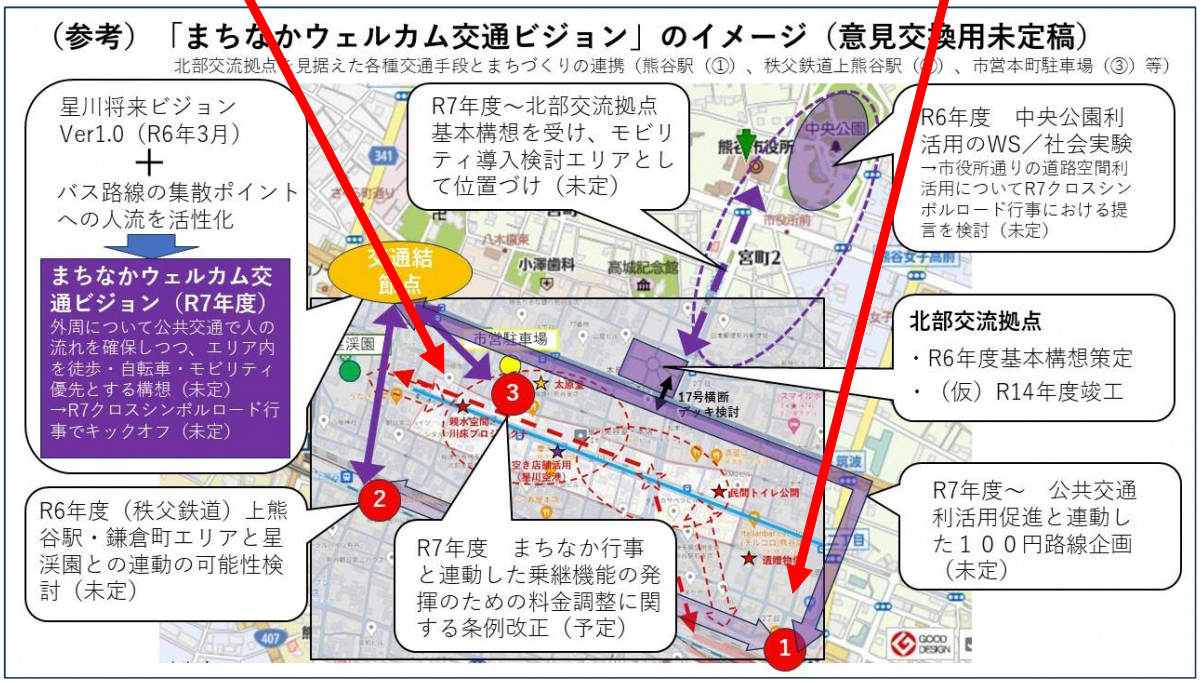
〇デジタル手法で情報発信・意見交換を行いつつ、更新を予定。

まちなか再生未来ビジョン

〇「駅からまちににぎわいを広げる」「まちを心地よく歩く・移動する」「まちなかで心地よく憩う」の方針を提示。

（参考）「まちなかウェルカム交通ビジョン」のイメージ（意見交換用未定稿）

北部交流拠点を見据えた各種交通手段とまちづくりの連携（熊谷駅（①）、秩父鉄道上熊谷駅（②）、市営本町駐車場（③）等）



まちなかで心地よく憩える街

星渓園・水辺交流場等社会実験

市有物件暫定利用
民間施設の公共的活用

（参考）「まちなかウェルカム交通ビジョン」のイメージ（検討中）

北部交流拠点を見据えた各種交通手段とまちづくりの連携（熊谷駅（①）、秩父鉄道上熊谷駅（②）、市営本町駐車場（③）等）

星川将来ビジョン
Ver1.0（R6年3月）
＋
バス路線の集散ポイントへの人流を活性化

まちなかウェルカム交通ビジョン（R7年度）
外周について公共交通で人の流れを確保しつつ、エリア内を徒歩・自転車・モビリティ優先とする構想（未定）
→R7クロスシンボルロード行事でキックオフ（未定）

R6年度（秩父鉄道）上熊谷駅・鎌倉町エリアと星渓園との連動の可能性検討（未定）

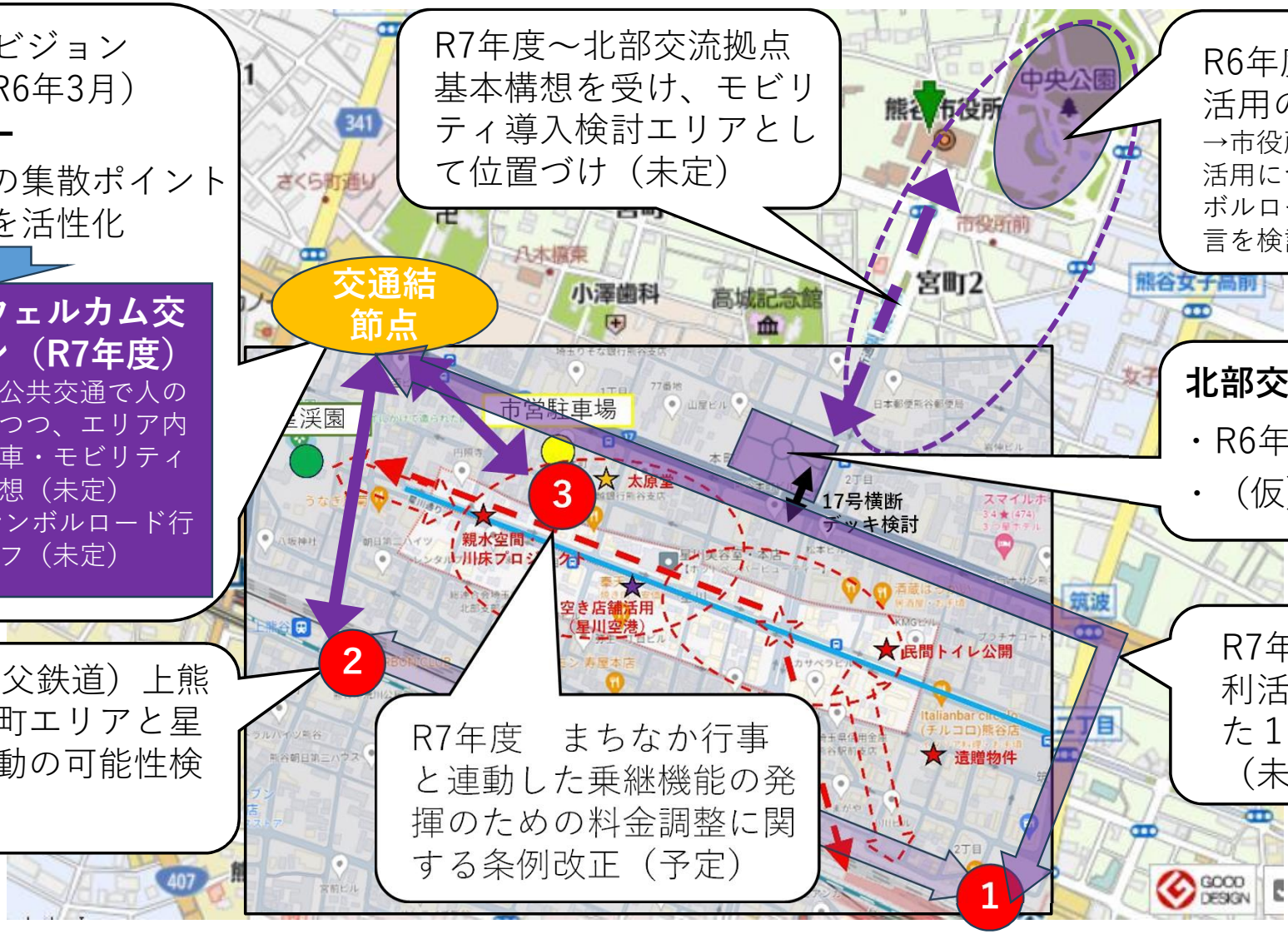
R7年度～北部交流拠点基本構想を受け、モビリティ導入検討エリアとして位置づけ（未定）

R6年度　中央公園利活用のWS／社会実験
→市役所通りの道路空間利活用についてR7クロスシンボルロード行事における提言を検討（未定）

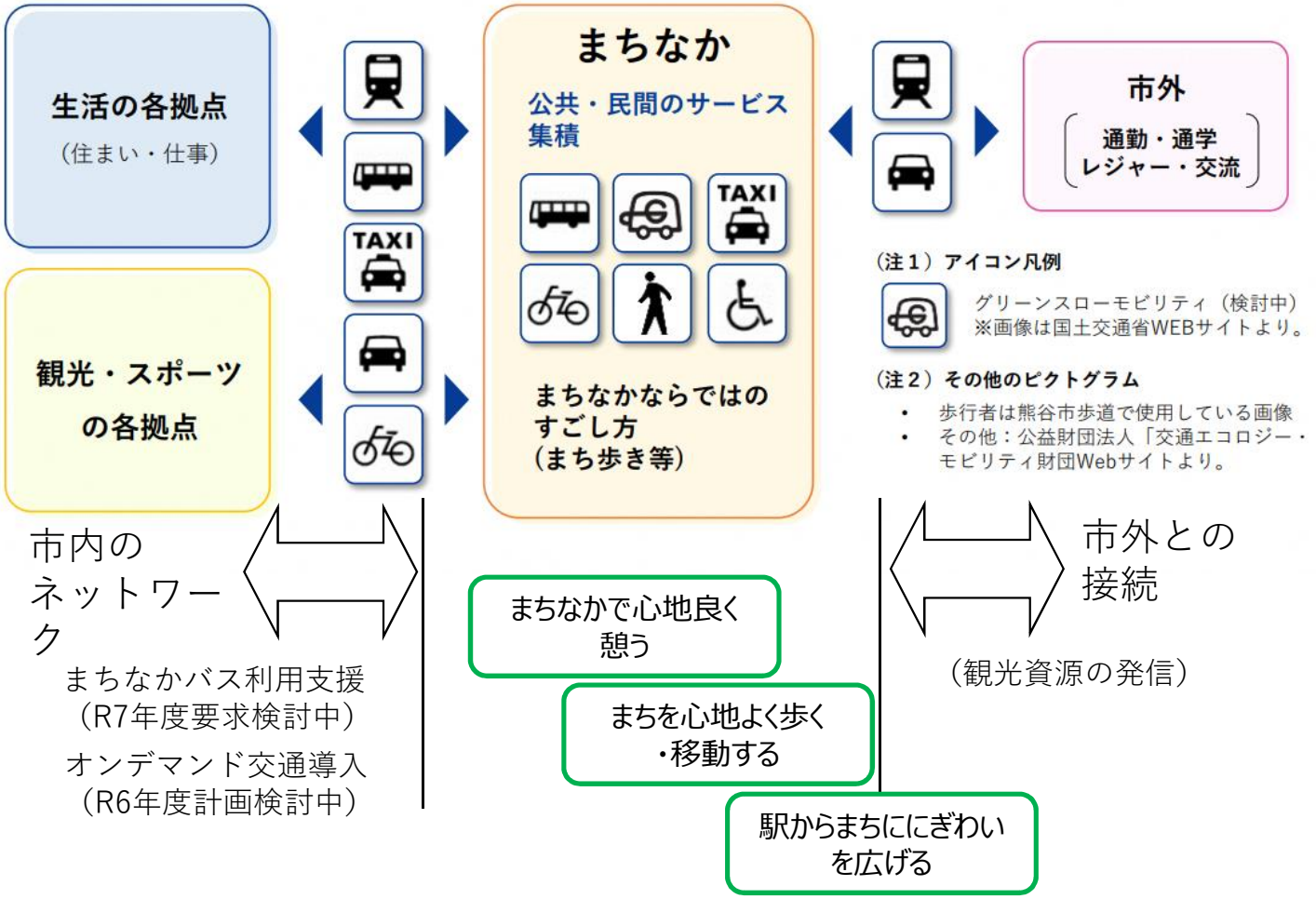
北部交流拠点
・R6年度基本構想策定
・（仮）R14年度竣工

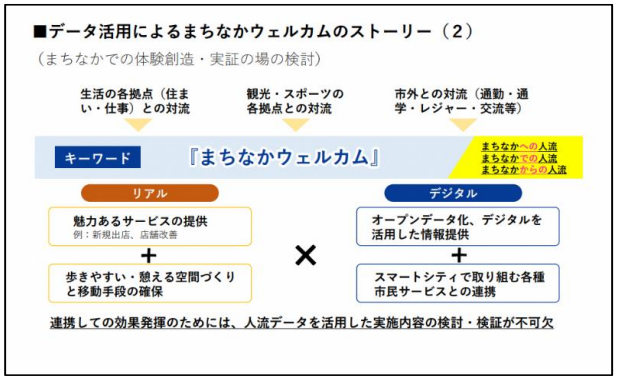
R7年度～　公共交通利活用促進と連動した１００円路線企画（未定）

R7年度　まちなか行事と連動した乗継機能の発揮のための料金調整に関する条例改正（予定）



まちなかの交通機能の発揮とまちづくりの連動（まちなかウェルカム）





熊谷市公民連携まちづくり実践方針

https://www.city.kumagaya.lg.jp/about/keikaku/matidukuri/kouminrenkei.html

凡例：

出典：熊谷まちなか再生未来ビジョン　将来像実現のポイント

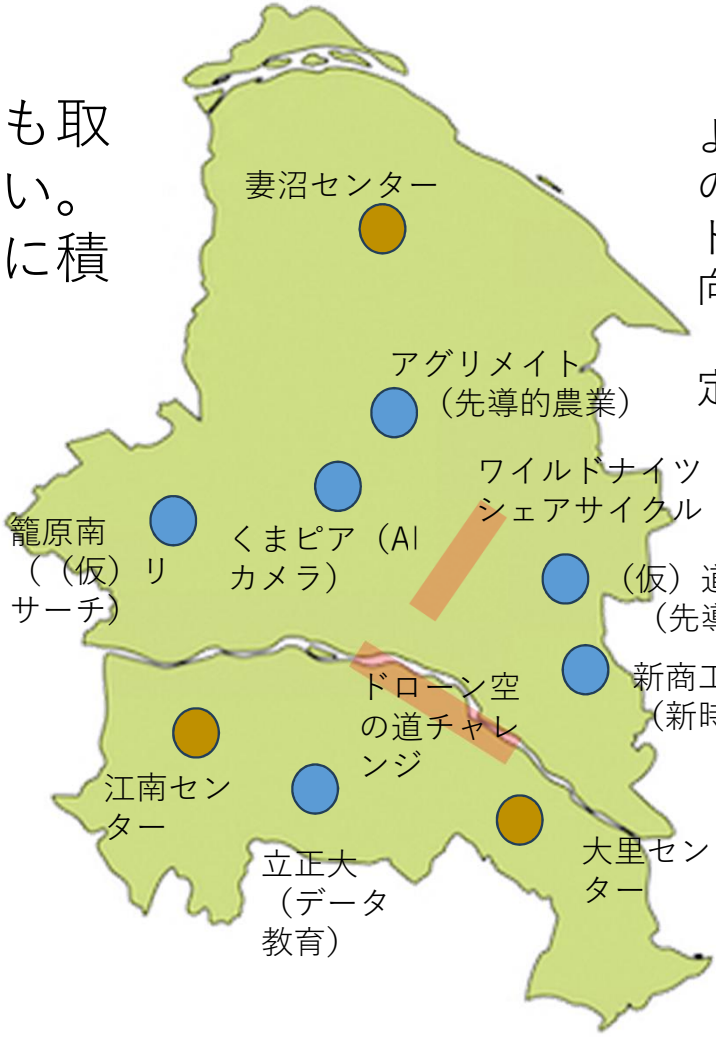
https://kumagayasaisei.wixsite.com/mysite/%E3%81%8A%E7%9F%A5%E3%82%89%E3%81%9B

（空間軸②）市全体での地域密着型スマートシティ政策の構築（検討中）

【目的】
・できるだけ多くの市民に「自分の地域でも取組が進んでいる」意識を持っていただきたい。
・外部からスマート技術等の新たな取組みに積極的な都市に見えるようにしていきたい。



ウェルビーイングビジョンにおける地域密着型スマートシティ政策のイメージ



（※）R７年度より一部地域でのAIオンデマンド交通の実装に向けて検討中。（対象路線未定）

（参考）ウェルビーイングビジョンマップ（R6年3月公表）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

（時間軸）スマートシティの各ステージの迅速な積み上げロードマップ

ペースを落とすことなく共創により新時代産業確保・社会課題解決を目指すステージへ

民間
・
応用

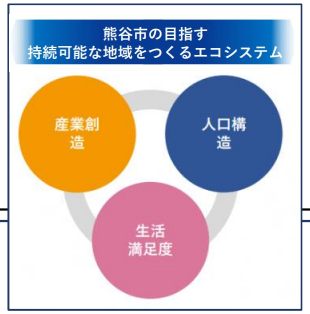
公共
・
基盤

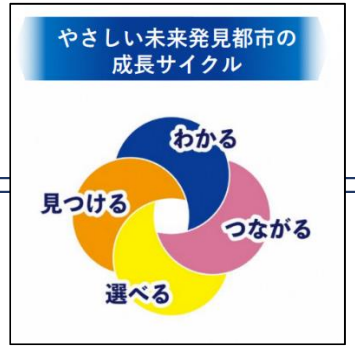
共創ステージ

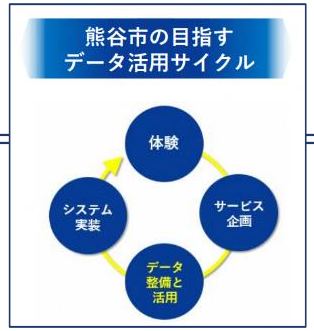
協調・参画ステージ

実装ステージ

効率化ステージ





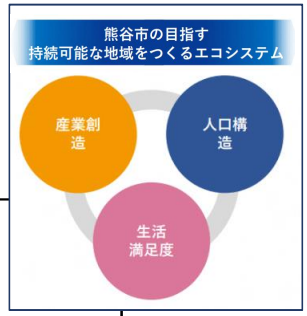


第三次熊谷市総合振興計画

～R4年度　R5年度　R6年度　R7年度　R８～R９年度　R１０年度～

（時間軸）スマートシティの各ステージの迅速な積み上げロードマップ

ペースを落とすことなく共創により新時代産業確保・社会課題解決を目指すステージへ



民間・応用

公共・基盤

共創ステージ

協調・参画ステージ

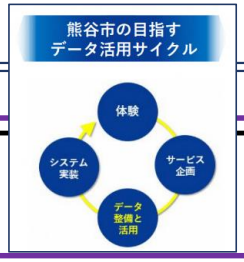
ミニ実験・プロトタイピング

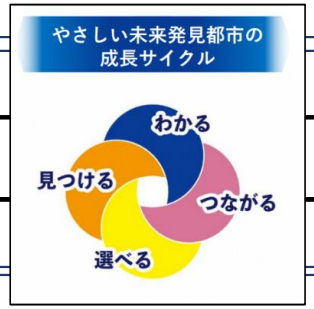
コミュニティ（コミュニケーションツールによる共助・オープンガバナンス）

実装ステージ

デジタル田園都市国家構想交付金（タイプ２）採択

市民サービスの各システム





効率化ステージ

データの整備・活用

利用履歴活用等のビジネス

～R4年度　R5年度　R6年度　R7年度　R８～R９年度　R１０年度～

（時間軸）スマートシティの各ステージの迅速な積み上げロードマップ

ペースを落とすことなく共創により新時代産業確保・社会課題解決を目指すステージへ



民間・応用

公共・基盤

共創ステージ

協調・参画ステージ

実装ステージ

効率化ステージ

熊谷SCは右の２つの早期実現に取り組める段階にR6年度到達⇒熊谷の強みの確保に向かう

産業DX・新時代産業

リアル開発や整備とデータ活用が連動したビジネス等

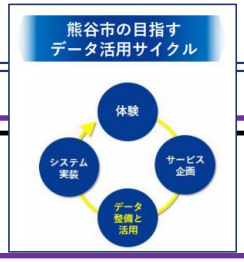
社会課題解決のチーム編成（目的は仕組みのビジネス化）

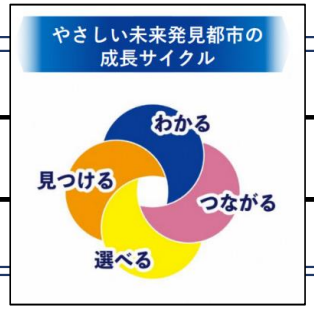
ミニ実験・プロトタイピング

コミュニティ（コミュニケーションツールによる共助・オープンガバナンス）

デジタル田園都市国家構想交付金（タイプ２）採択

市民サービスの各システム





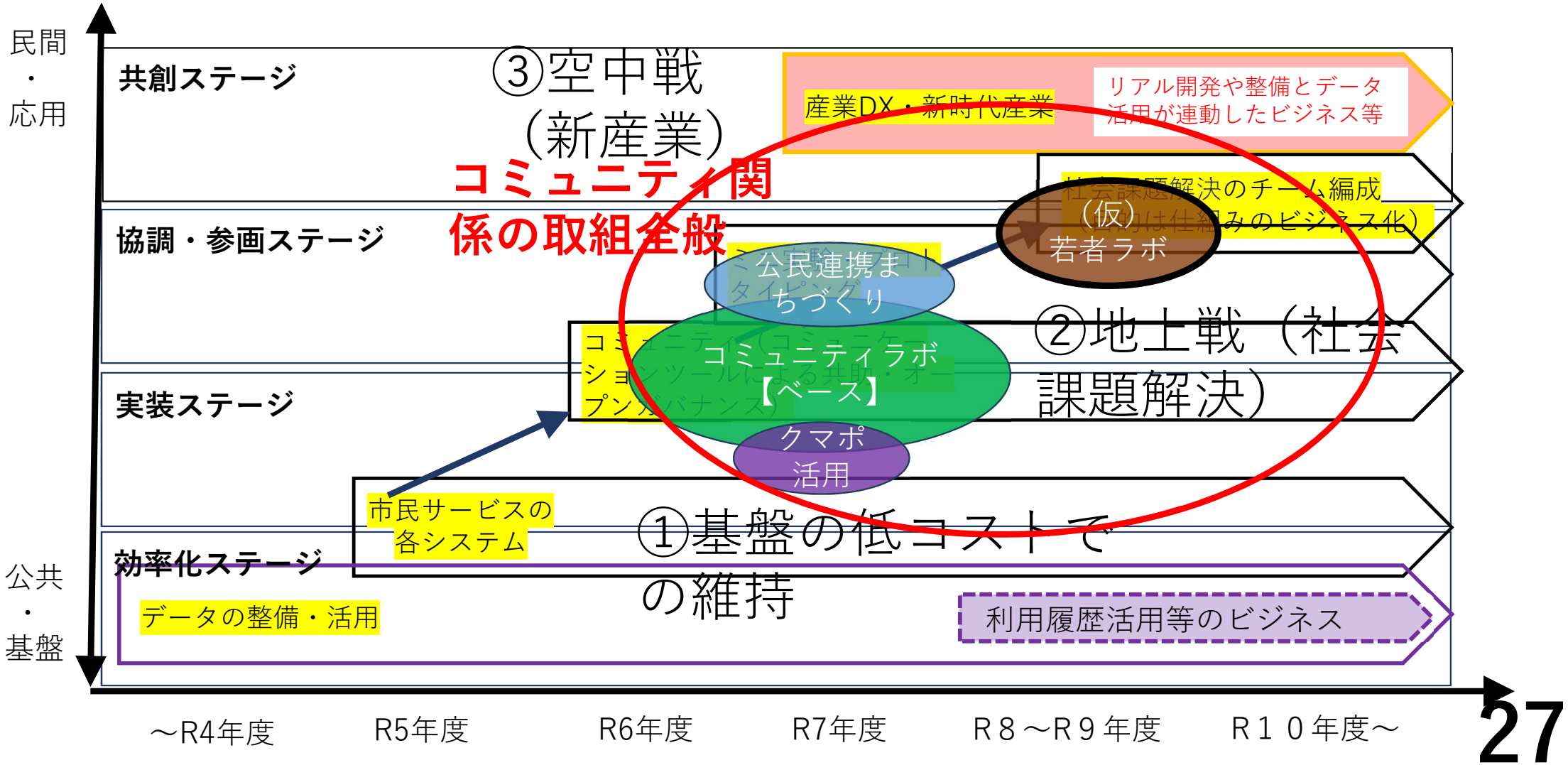
データの整備・活用

利用履歴活用等のビジネス

～R4年度　R5年度　R6年度　R7年度　R８～R９年度　R１０年度～

（時間軸）共創を加速するための分類と対応するコミュニティの仕組み・システム

①基盤の低コストでの維持、②地上戦（社会課題解決）、③空中戦（新産業）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

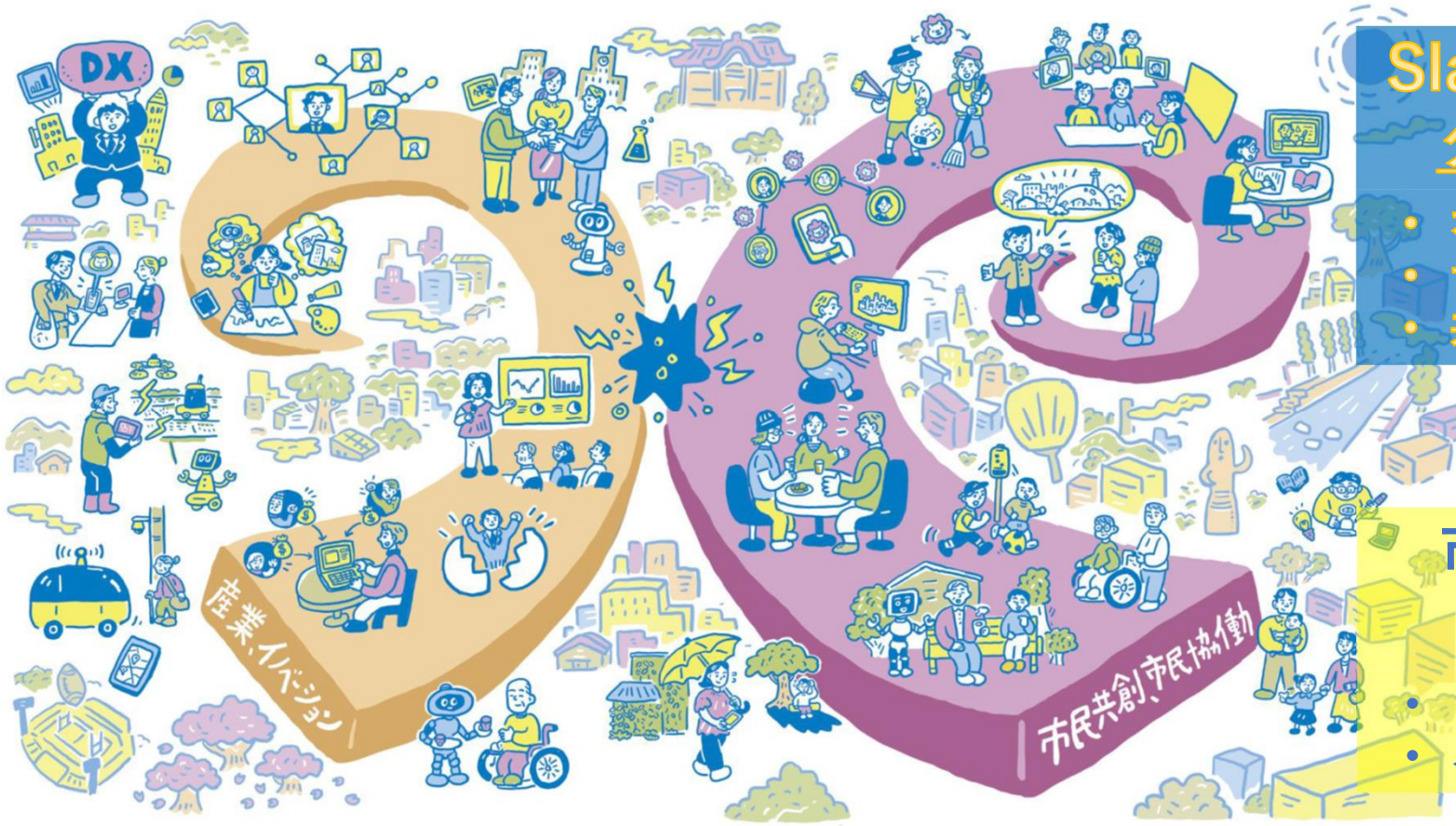
コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

（参考）「コミュニティラボ」を核とした産業振興・共創

民間団体と市役所の連携によりウェブ上とリアルの両面で運営



Slackを活用したクラウドラボ

- オープンな議論
- データ共有の場
- 共創の加速

市内会場でのリアルラボ

- リアルな会合・体験
- ネットワークづくり

コミュニティラボ コンセプトビジュアル

【コミラボ】クラウドラボの各チャンネル主担当課（案）

まちづくりビジョン	商業観光課・都市計画課（まちなか・まちづくりPT）
クマポ・プレイス	市民活動推進課
ドローン・ロボット	企業活動支援課 （詳細は別紙「ドローン・ロボット・インフラ３D画像会議」参照）
シーンスケッチ	政策調査課
スマートクールシティ	環境政策課（暑さ対策）・政策調査課（システム・データ連携）
市民参画型GIS	政策調査課（WebGIS全般）・都市計画課（３D都市モデル）





【市民向け解説たたき台】市役所Webサイトと外部の追加システムの関係（案１）
～双方向性のあるシステムによる「企画・振り返り」と「実行」のサイクルの加速を目指す。

【１】市役所Webサイト：特に注記がなくても市役所が記載内容に責任を持つ範囲

市役所トップページ

インデックスサイト（or サブサイト）

（※）熊谷市役所においては掲載情報の分類などを工夫したものをインデックスサイト、特にデザインしたものをサブサイトと呼ぶ。（サブサイトは予算要求が必要。）

（追加システム等があれば）追加システム等と本サイトの関係の解説（本シート相当）

新着情報（主に以下の情報の追加・更新等）

取組みの基礎となるビジョン・方針等

関連情報

（※）他部署の取組みについても極力リンクを張る。自部署の情報を自動的に優先するのではなく、市役所全体としての構想を市民に知ってもらうことを優先。

WS・シンポジウム等の募集情報や開催記録、報告書等

（アーカイブ部分）

【２】追加システム（SCとしての呼称は「Webコモンスペース」）：市民の意見交換を促す範囲

【職員による書き込みの取扱い（案）】
（１）市民の意見交換を促すために職員が記入する場合があるが、市役所のサイトに掲載されている内容（【１】）を越える内容は、「個人の意見であり市役所を代表するものではない」取扱いであることを承知の上でご参加いただく。
（２）職員は、政治的目的をもってする政治的行為等の法律上の違反、市役所内で保護すべきと既定されている予算等の情報に触れること、また追加システムへの参加上求められるマナー違反等（原則として規約等に明記されているもの）を行わないように留意して書き込みを行う。

書き込み内容は大まかに以下の２グループに区別される想定。
（民主導型はモデレーターの存在が重要となる見込み。）

【公民連携型】企画・振り返りフェイズ

ビジョン等に沿って市役所の予算・事務等の関与がなされている取組み（補助を受けて民間が実施している内容を含む）

アーカイブ部分を極力有効に活用。

中間領域（移行中等）

【民主導型】企画・振り返りフェイズ

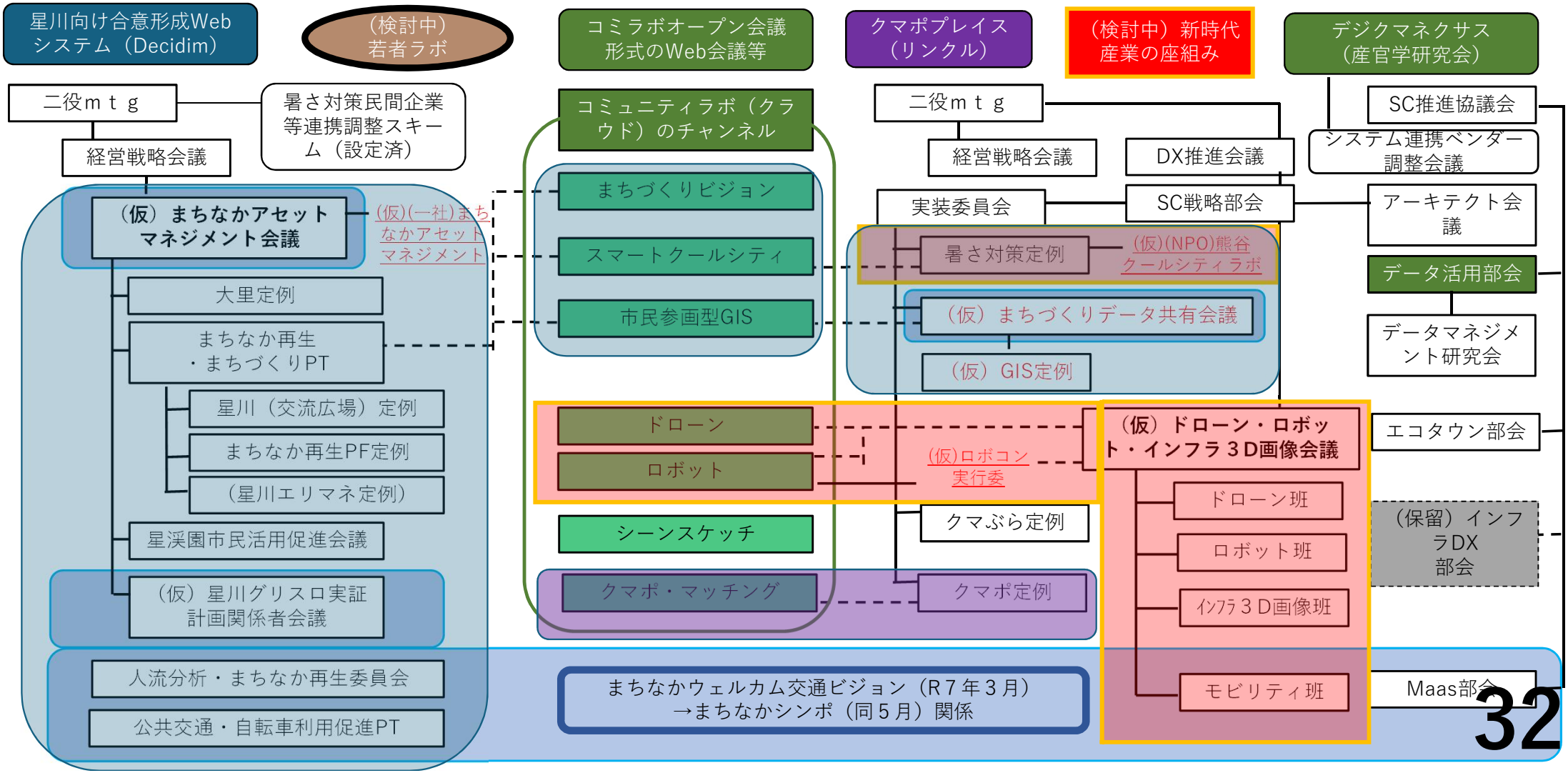
ビジョン等に沿っている内容のうち、市役所の予算・事務等の関与がない取組み
（例）・花活
・ロボコン　等

公民連携型の実行フェイズ

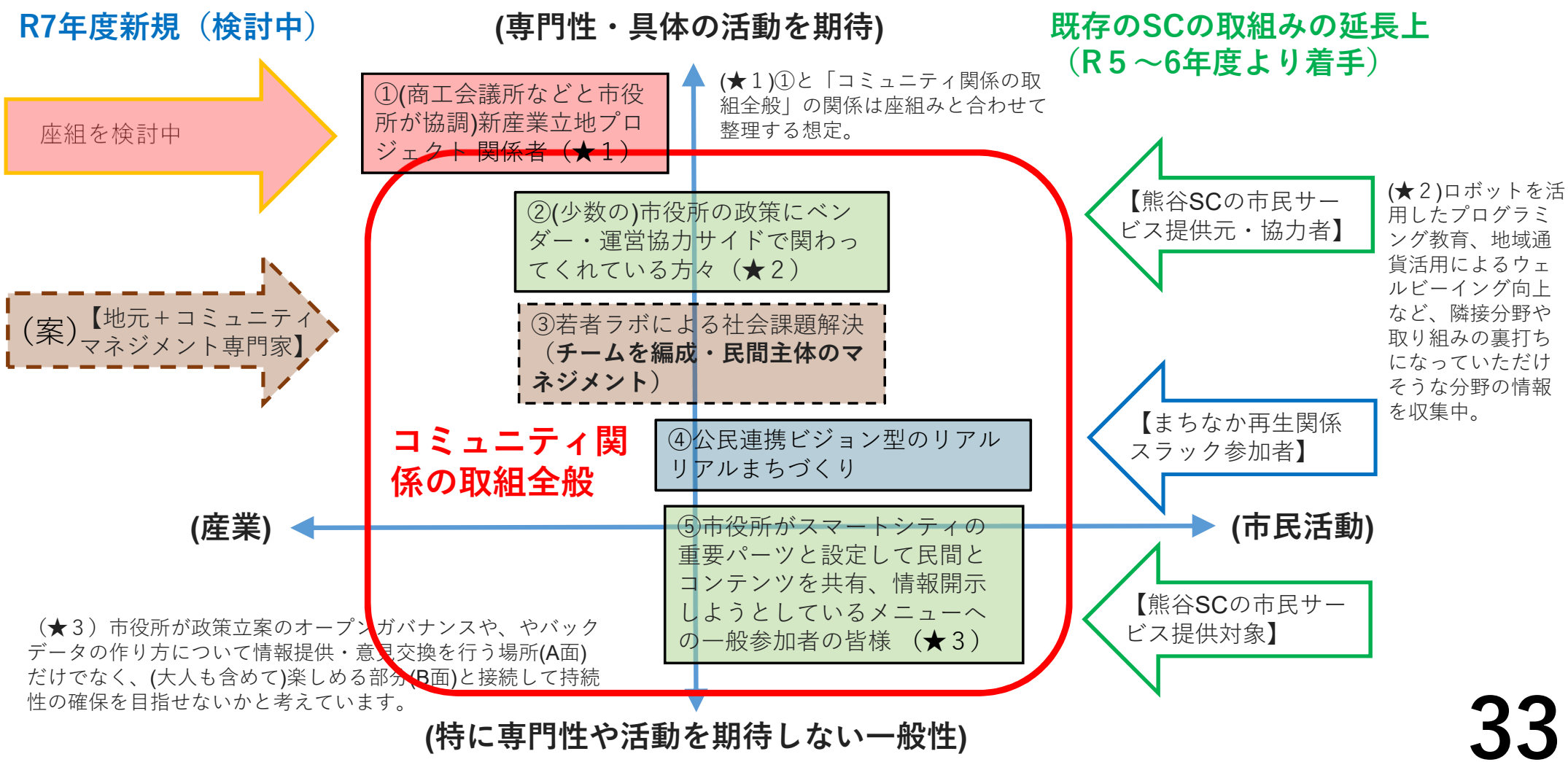
民主導型の実行フェイズ

【参考】（組織軸）コミュニティ関係の取組と公民連携に関わる会議体等の関係（案）

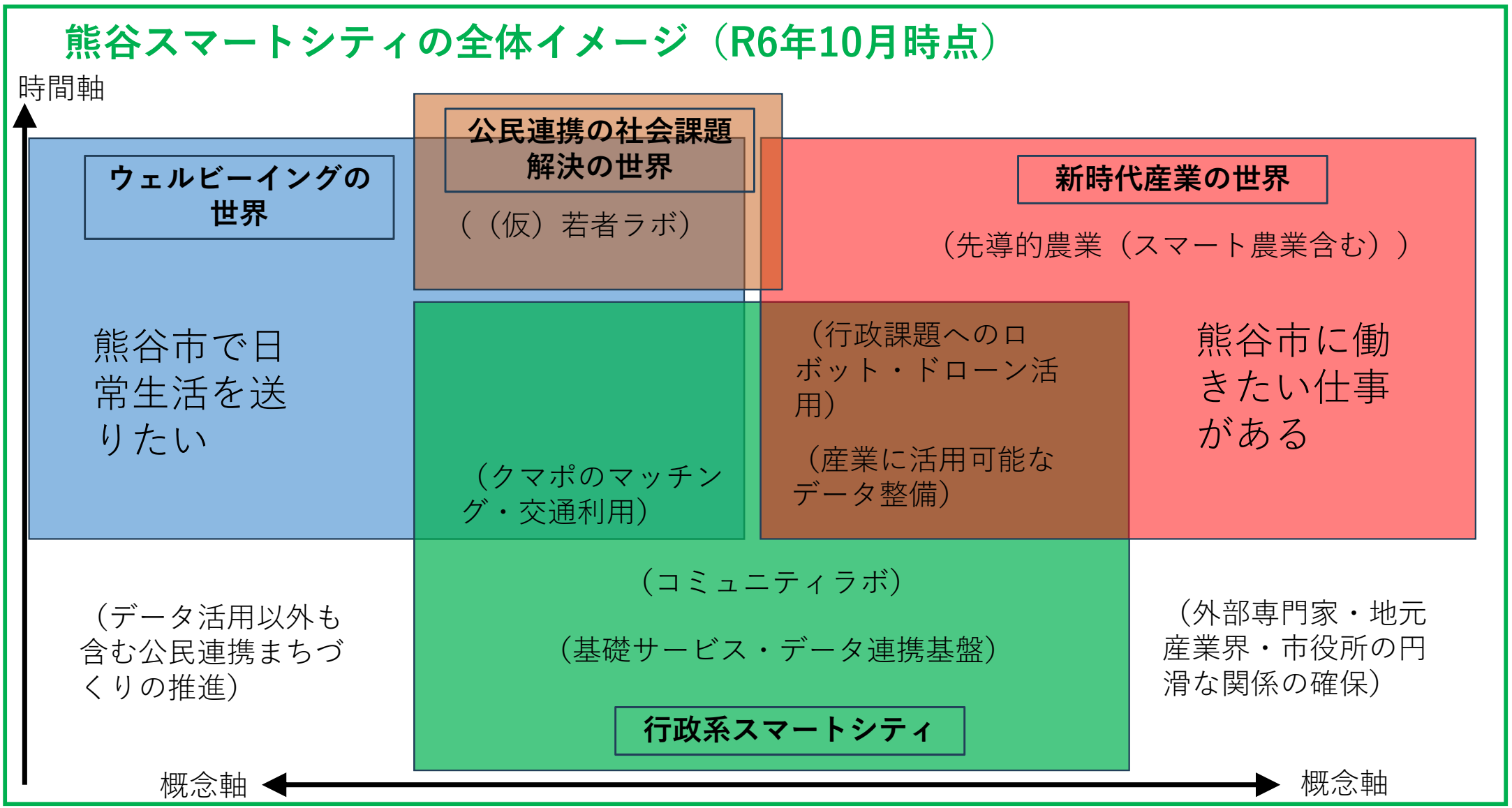
（凡例） Web等により市民にオープンになる会議（予定）　交通ビジョン、R7年５月クロシンシンポ関係



（人材軸）コミュニティラボの閲覧・参加者の想定と獲得方針（案）



熊谷スマートシティの全体イメージ（R6年10月時点）



熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

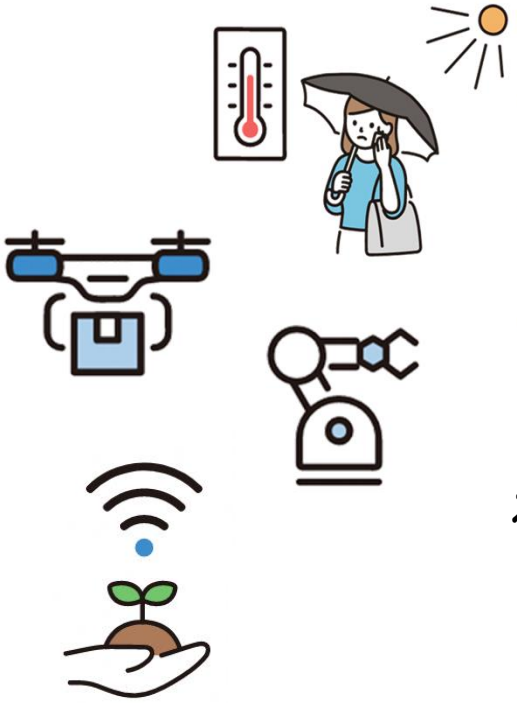
熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

（産業軸・人口軸）新時代の産業への展開の方向性（案）

～熊谷に適した構成・シナリオを描くため、人口・産業データを参照しつつ別紙「新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）」を基礎に検討に取り組む。

「気象データ取扱いのノウハウが市民等に最も身近な都市」から新時代の産業へ



- ①気象観測・データ活用・クールアイデア
- ②生活支援ロボット・ドローン実証
- ③（仮）先導的農業（スマート含む）



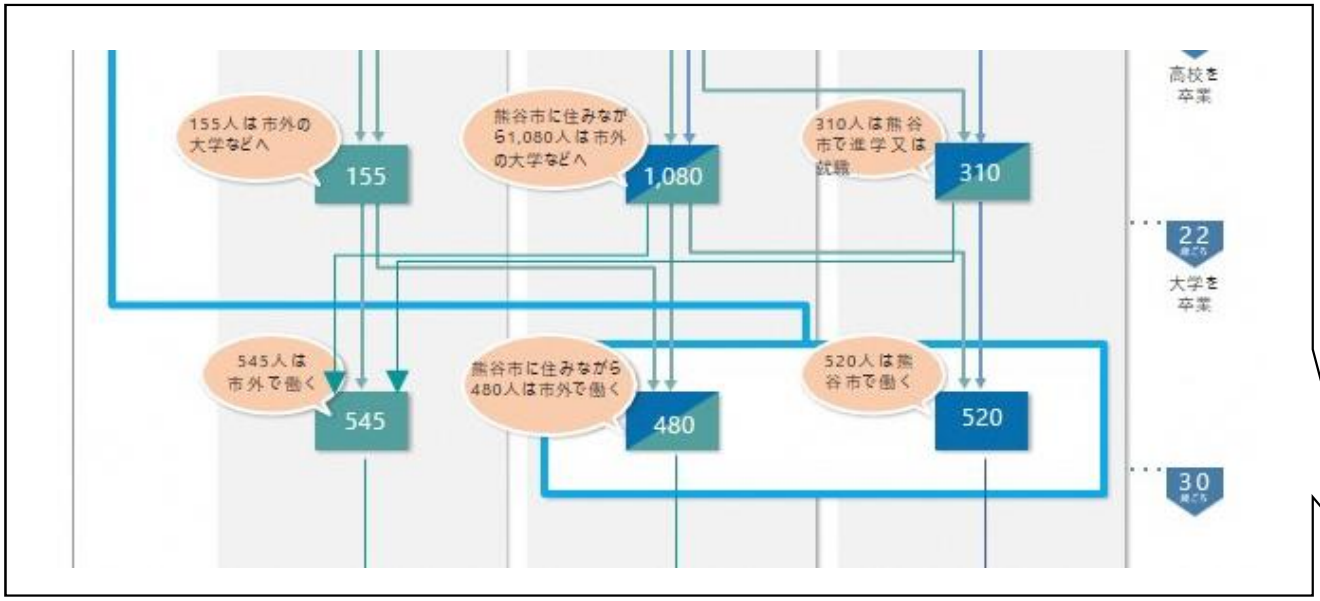
３分野がセットとなり、その時点の技術・社会・関係者の情勢により牽引する分野を入れ替えながら競争力を維持していくことを

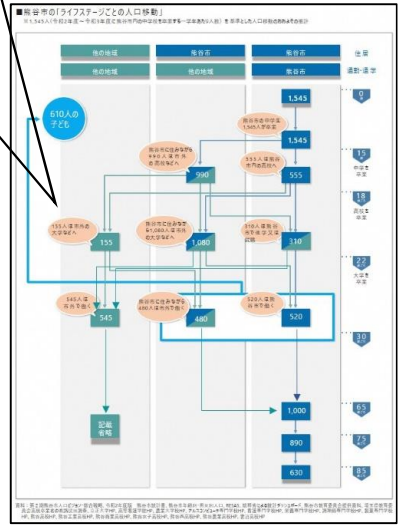
「熊谷の新時代産業モデル」と位置づけ、

関係者とのネットワークづくりなどに長期的視点で取組む。

（ステップ１）将来人口推移のどの部分（世代・行動）に効くことを目指すのか。【熊谷市について整理中】

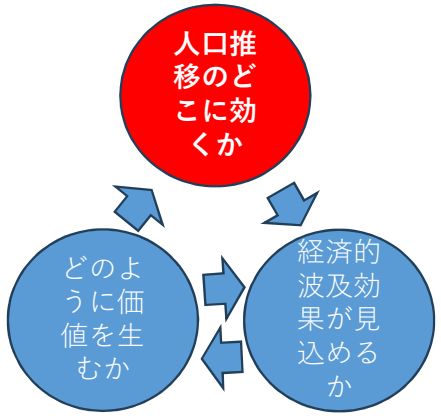
■熊谷市の「ライフステージごとの人口移動」
※1,545人（令和2年度～令和3年度に熊谷市内の中学校を卒業する一学年あたり人数）を基準とした人口移動のおおよその推計





資料：第２期熊谷市人口ビジョン・総合戦略、令和2年度版　熊谷市統計書、熊谷市年齢別・男女別人口、RESAS、総務省による統計ダッシュボード、熊谷市教育委員会提供資料、埼玉県教育委員会高校卒業者の進路状況調査、立正大学HP、高等看護学院HP、農業大学校HP、アルスコンピュータ専門学校HP、看護専門学校HP、栄養専門学校HP、調理師専門学校HP、製菓専門学校HP、熊谷高校HP、熊谷工業高校HP、熊谷商業高校HP、熊谷女子高校HP、熊谷西高校HP、熊谷農業高校HP、妻沼高校HP

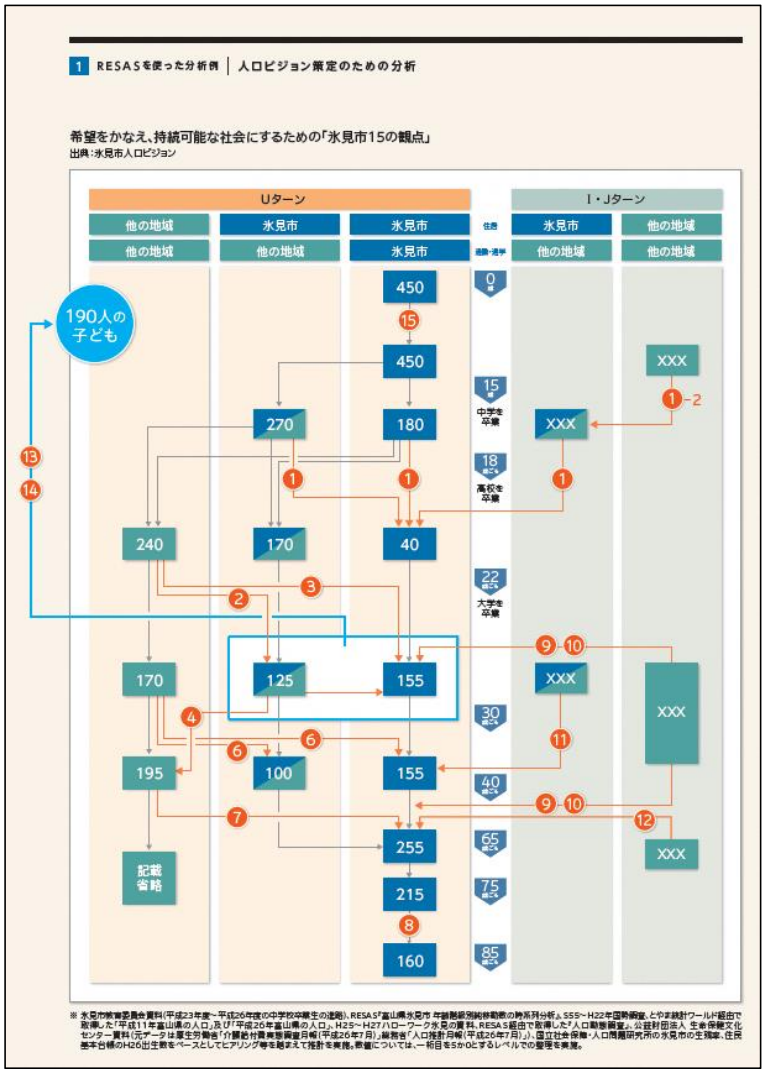
【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

（ステップ１）将来人口推移のどの部分（世代・行動）に効くことを目指すのか。

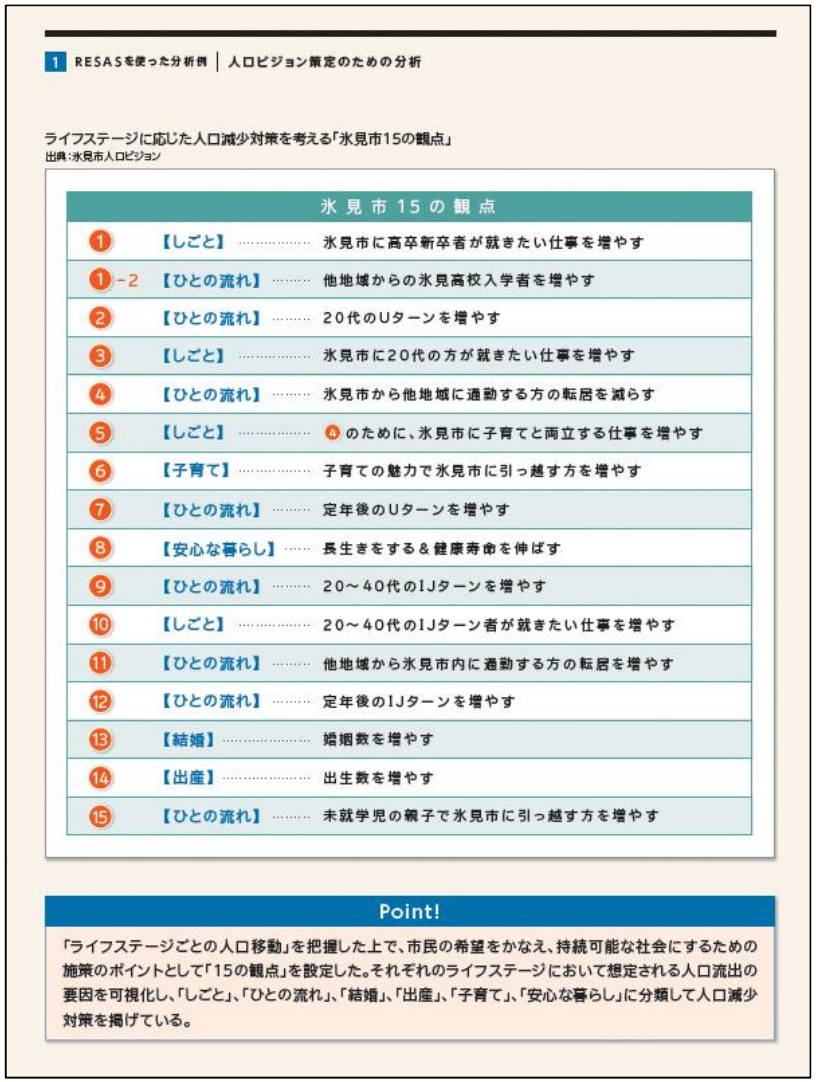
他市のサンプル



1 RESASを使った分析例 | 人口ビジョン策定のための分析

希望をかなえ、持続可能な社会にするための「氷見市15の観点」
出典：氷見市人口ビジョン

※氷見市教育委員会資料（平成23年度～平成26年度の中学校卒業生の進路）、RESAS「富山県氷見市 年齢階級別純移動数の時系列分析」、SSS～H22年国勢調査、とやま統計ワールド経由で取得した「平成11年富山県の人口」及び「平成26年富山県の人口」、H25～H27ハローワーク氷見の資料、RESAS経由で取得した「人口動態調査」、公益財団法人 生命保健文化センター資料（元データは厚生労働省「介護給付費実態調査月報（平成26年7月）」）、「人口推計月報（平成26年7月）」）、国立社会保障・人口問題研究所の氷見市の生残率、住民基本台帳のH26出生数をベースとしてヒアリング等を踏まえて推計を実施。数値については、一桁目を5か0とするレベルでの整理を実施。



1 RESASを使った分析例 | 人口ビジョン策定のための分析

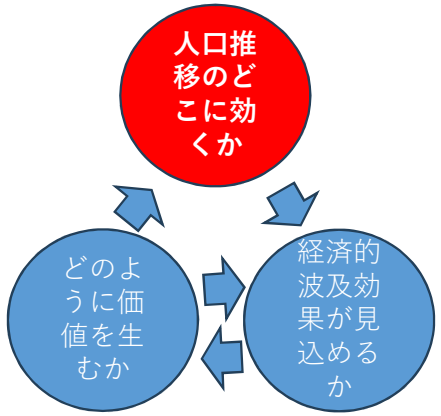
ライフステージに応じた人口減少対策を考える「氷見市15の観点」
出典：氷見市人口ビジョン

氷見市15の観点		
1	【しごと】	氷見市に高卒新卒者が就きたい仕事を増やす
1-2	【ひとの流れ】	他地域からの氷見高校入学者を増やす
2	【ひとの流れ】	20代のUターンを増やす
3	【しごと】	氷見市に20代の方が就きたい仕事を増やす
4	【ひとの流れ】	氷見市から他地域に通勤する方の転居を減らす
5	【しごと】	④のために、氷見市に子育てと両立する仕事を増やす
6	【子育て】	子育ての魅力で氷見市に引っ越す方を増やす
7	【ひとの流れ】	定年後のUターンを増やす
8	【安心な暮らし】	長生きをする＆健康寿命を伸ばす
9	【ひとの流れ】	20～40代のIJターンを増やす
10	【しごと】	20～40代のIJターン者が就きたい仕事を増やす
11	【ひとの流れ】	他地域から氷見市内に通勤する方の転居を増やす
12	【ひとの流れ】	定年後のIJターンを増やす
13	【結婚】	婚姻数を増やす
14	【出産】	出生数を増やす
15	【ひとの流れ】	未就学児の親子で氷見市に引っ越す方を増やす

Point!

「ライフステージごとの人口移動」を把握した上で、市民の希望をかなえ、持続可能な社会にするための施策のポイントとして「15の観点」を設定した。それぞれのライフステージにおいて想定される人口流出の要因を可視化し、「しごと」、「ひとの流れ」、「結婚」、「出産」、「子育て」、「安心な暮らし」に分類して人口減少対策を掲げている。

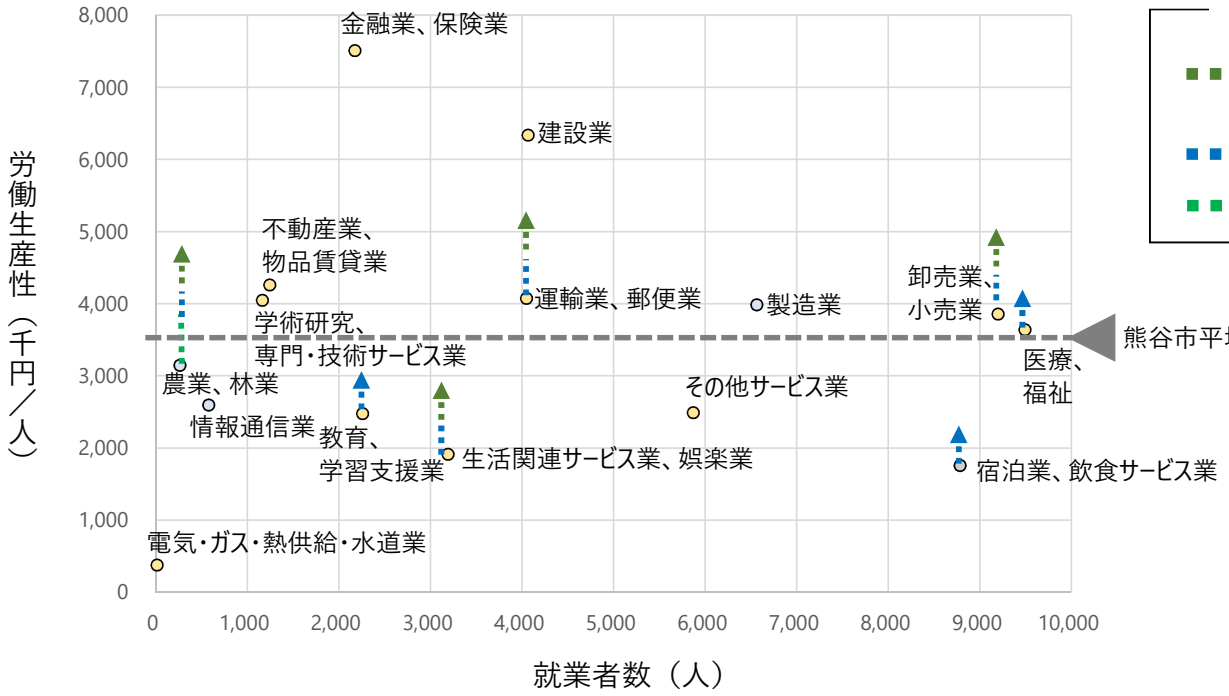
【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

（ステップ２）その産業の付加価値創出は経済的波及効果が見込めるか。【熊谷市について整理中】

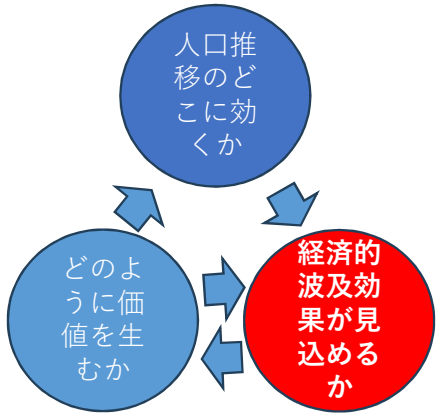
■熊谷市の産業別就業者数と利益※（2021）
熊谷スマートシティにおける新時代産業モデルが付加価値の向上に貢献しうると考えられる分野を整理。



＜新時代産業モデル3本の矢による貢献例＞
- 気象観測・データ活用・クールアイデア
- 生活支援ロボット・ドローン
- 先導的農業

- RESASの産業構造マップ情報を基に作成。また、次スライドの産業分類と整合するように作成。
- 上記の各産業への新時代産業モデルの貢献については、検討中の仮のものであり、各産業において具体的に実証・実装を目指す内容に応じて変化する。

【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

参考：令和3年3月国土交通省　産業分野における気象データの利活用促進

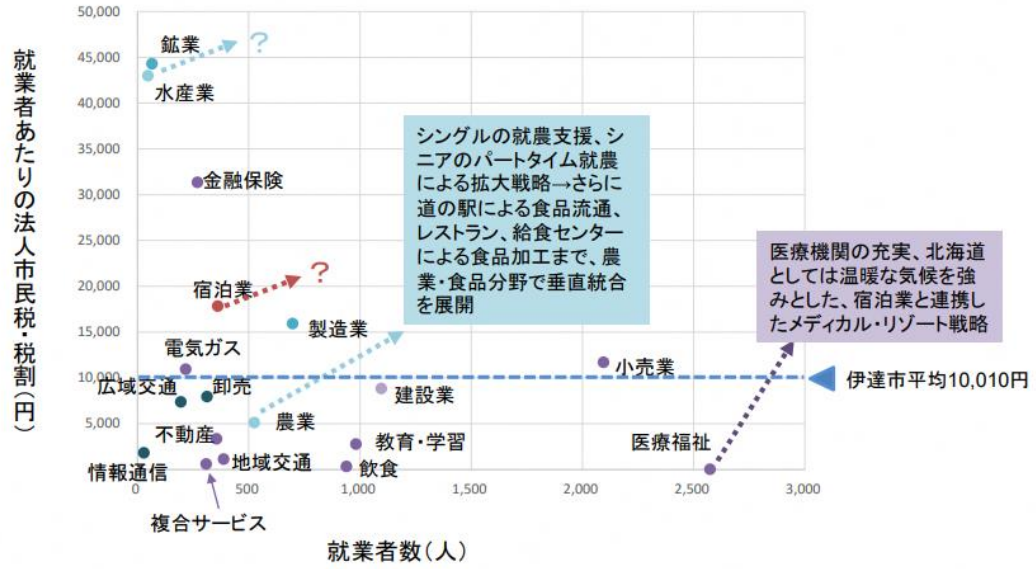


図2－1　産業分野における気象情報の利活用

（ステップ２）その産業の付加価値創出は経済的波及効果が見込めるか。 他市のサンプル

伊達市の産業別就業者数*と収益率（2012）

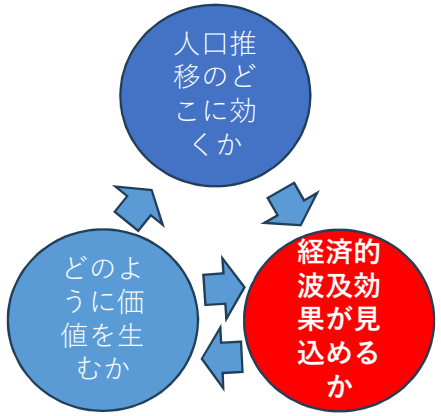
市平均の収益率を下回る農業と医療をてこに宿泊などと高収益の産業と連携して付加価値創出を図る戦略が模索されている



*就業者数は、税務データによる就業者数もしくは経済センサスによる就業者数のどちらか大きい方をとった。また、2014年調査の経済センサスは未公表のため、2012年の経済センサスを利用した
資料：RESAS、経済センサス、伊達市

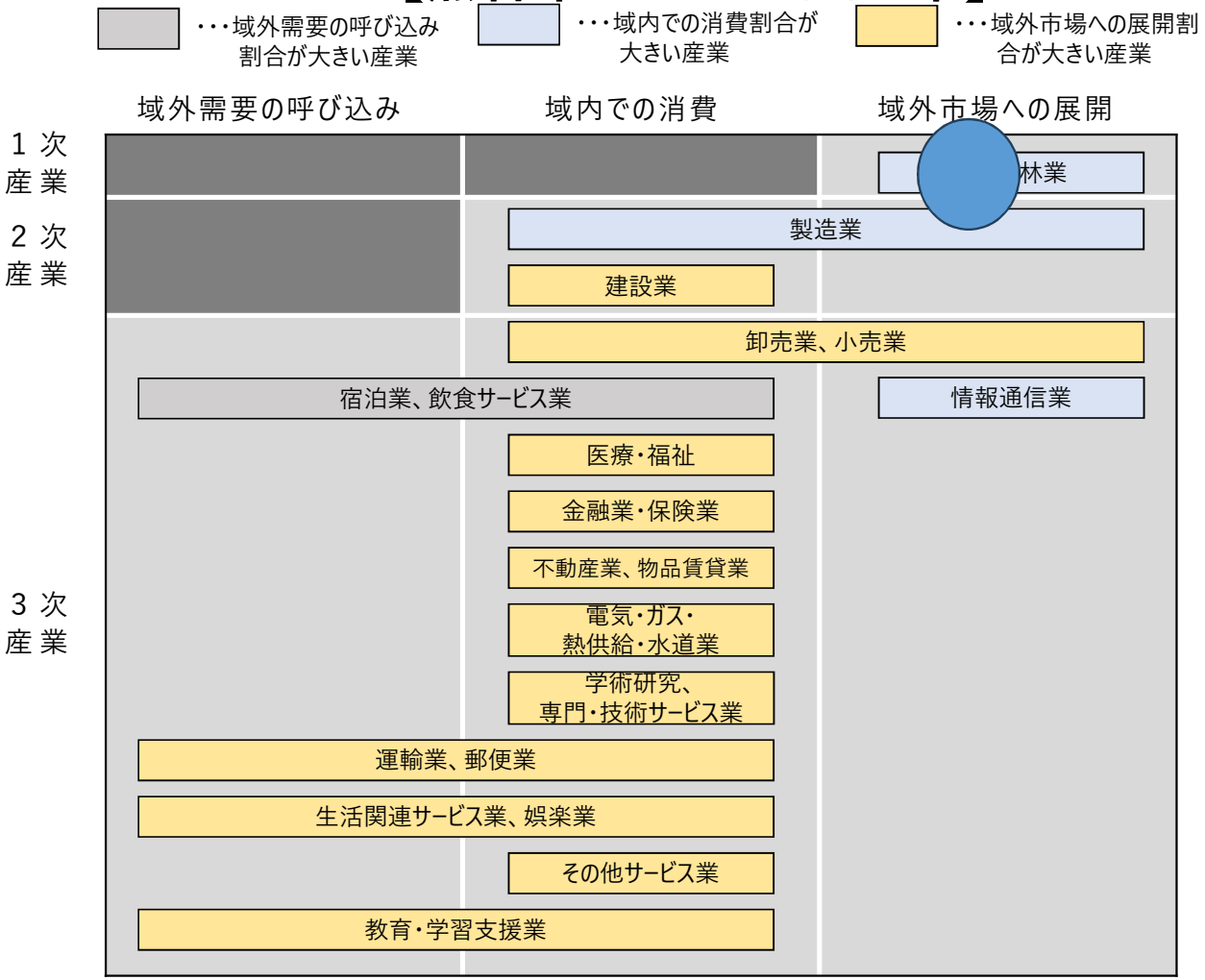
38

【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

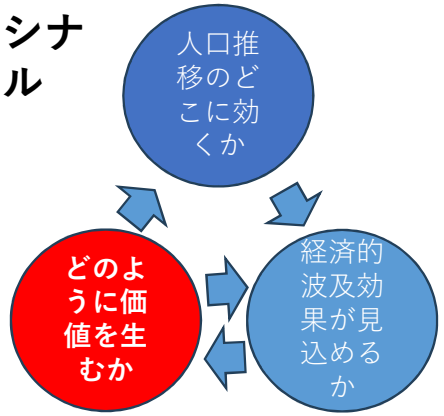
（ステップ３）付加価値創出シナリオが具体的に描けるか。
【熊谷市について整理中】



資料：RESAS、熊谷市統計書を基に作成

【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】

（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。



・RESAS、令和2年度版熊谷市統計書の情報を基に産業分類を作成。また、前スライドの産業分類と整合するように作成。

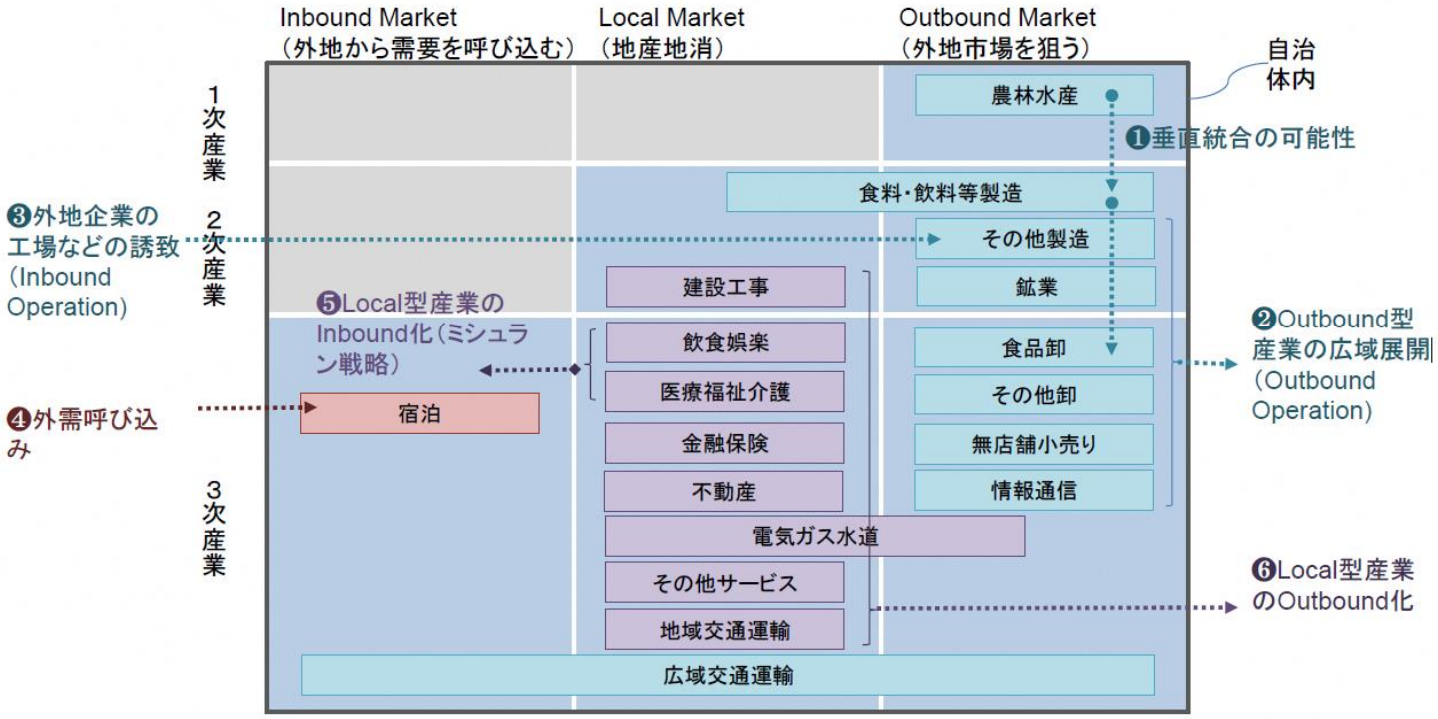
- 各分産業分野について2象限に跨っている事由は以下のとおり整理（検討中）。
  - 製造業は食料品製造について域内消費分もあることから、域外の割合が大きいものの、域内の消費もあるため
  - 卸売業、小売業は域内での販売割合が大きいが域外も対象に事業を営んでいるため
  - 宿泊業、飲食サービス業は宿泊業は市外客が中心となり、飲食サービス業も域外の需要が一定数あると想定されるため、域外需要の割合が大きい産業と考える
  - 運輸業、郵便業は広域交通も含まれるため
  - 生活関連サービス業、娯楽業はスポーツ興行も含まれるため
  - 教育・学習支援業は大学や専門学校、高校も含まれ、域外からの入学があるため

（ステップ３）付加価値創出シナリオが具体的に描けるか。

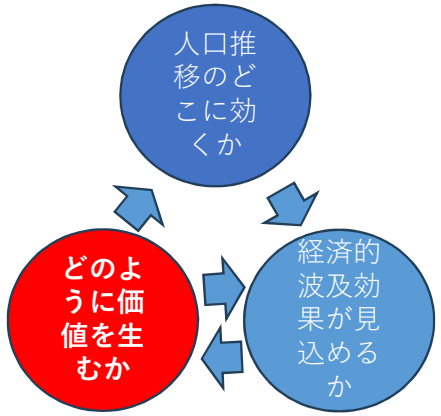
他市のサンプル

産業区分別の成長可能性

産業それぞれに成長の可能性があるが、Local需要に依存しない方向に進むことでは共通している。その意味でOutbound型、Inbound型の産業により大きなチャンスがあるように見える



【新時代産業のシナリオ作成サイクル（案）】



（※）シナリオ検討においては、素案の段階から民間との間で極力オープンな議論を行っていく予定。

熊谷市の概要

熊谷市のスマートシティ・公民連携まちづくりで目指す方向性

熊谷市のスマートシティの当面の目標

コミュニティ関係の取組み

熊谷市の目指すべき新時代産業（案）の検討

新時代産業（案）に向けた具体の取組み

（参考）「やさしい未来発見都市　熊谷」を実現する市民サービス

「クマぶら」を入口に、市民の様々な活動をアシストする情報・サービスを提供

コモンデータ*1の蓄積・更新と住民参加の好循環へ

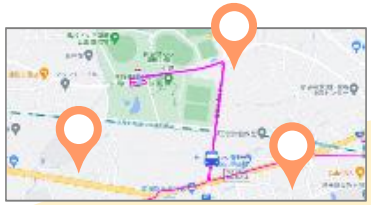
都市活動をアシストするデータ提供
（暑さ対策スマートパッケージなど）

デジタルコミュニティツール
＋Webコモンスペース

気象（温熱環境等）
シミュレーション



バス位置情報
店舗等位置情報



スマホ回数券
（コミュニティバス）





都市サービスポータル
（クマぶら）

地域電子マネー・
コミュニティポイント



クラウドラボ等の
Webコモンスペース



データ連携基盤

各アプリの連携・オプトイン（データ利用同意）により提供されたデータ分析によるサービスの向上

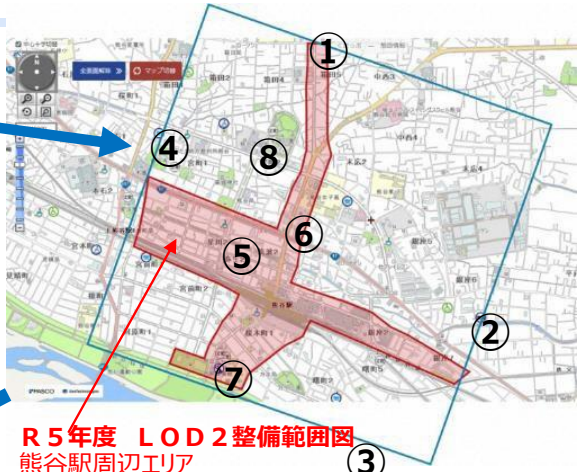
コモンデータ＊1　「誰でもデータ作成に関われる仕組みの考え方」を検討する上での用語としてデータ活用部会（熊谷スマートシティ推進協議会）において使用

（参考）「気象観測・データ活用」に関する実装の状況①

熊谷駅周辺の市街地８か所に気象センサーを設置し、
気象シミュレーションを実施



気象シミュレーション範囲図
・シミュレーション範囲
熊谷駅を中心に徒歩15分圏内約２Ｋｍ四方



Ｒ５年度　ＬＯＤ２整備範囲図
熊谷駅周辺エリア
（面積：0.6㎢　建物：2,100棟）

熊谷市暑さ対策スマートパッケージの機能

コミュニティポイント ボーナス付与



コミュニティポイントが獲得できるクールシェアスポットを近い順に表示

クールシェアスポット 協調表示



クールシェアスポットの場所・詳細情報の確認などができます。

まちなかヒートエリア 可視化

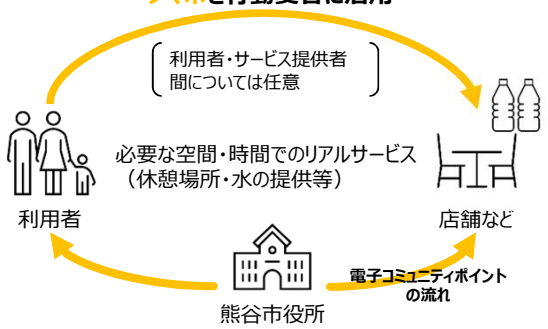


温熱環境シミュレーションの結果を表示し、相対的に暑いエリアが把握できます。



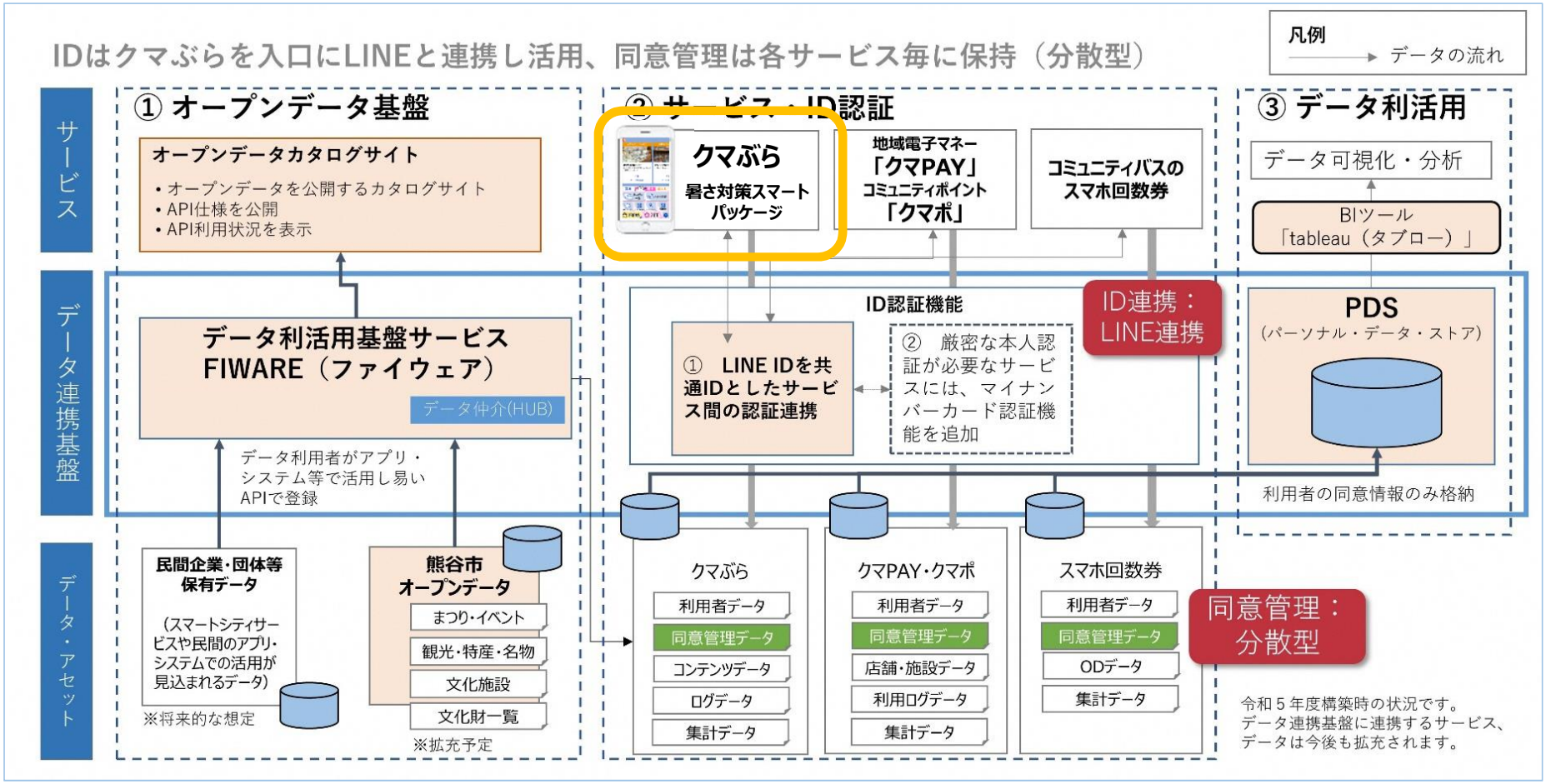
スマホサービス（クマぶら）

クマポを行動変容に活用



市民・来訪者と店舗が
Win-Winのまちなかウェルカム

（参考）「気象観測・データ活用」に関する実装の状況②
～データ連携基盤システムと接続することで多様なデータ活用が可能



（参考）「気象観測・データ活用・クールアイデア」の実践（R6年度）①

暑さ対策をテーマに“市民自らが”対策を立案し、観測データを取得・共有する取組としてスタート









市民自ら考えた
アイデアの実践

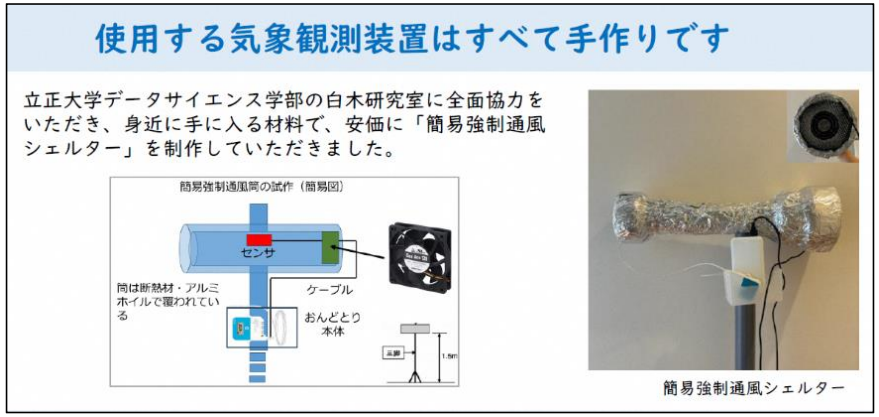




ワークショップにおける気象観測フィールドワーク実施時のプレスリリース

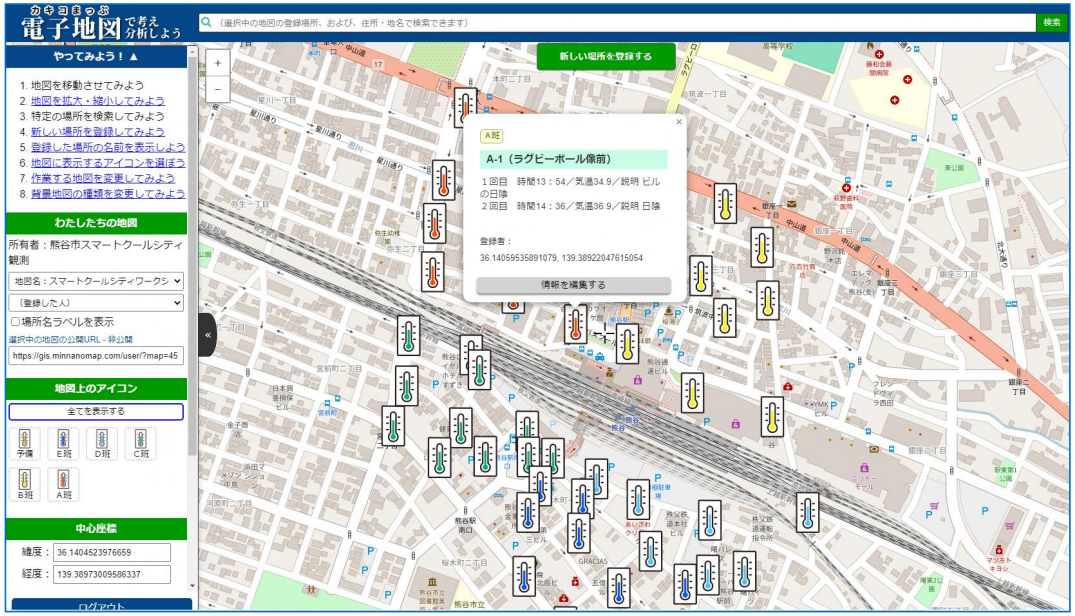
（参考）「気象観測・データ活用・クールアイデア」の実践（R6年度）②

気象観測装置を適切に用いて気温データを取得、また補正を行い、研究論文への使用や、
他都市の取組等との客観的な比較が可能なデータを作成し公表を予定



地元の立正大学の協力を得て作成した“手作り”の気象観測装置を使用して測定を実施

市民や大学と連携した
実験の場
オープンガバナンス



観測したその場で学習用ＷＥＢＧＩＳ
「カキコまっぷ」に入力しデータ化

（参考）「気象観測・データ活用・クールアイデア」の実践（R6年度）③

「その都市に暮らしたい！」という思い

・エネルギー
・環境対策



居心地が良く
歩きたくなる
まちなかづくり

熊谷市では
デジタルの力で「安心」を提供し気温コンパチブルなまちづくりを実現する手法の
他都市への提供事業に取り組んでいきます

（参考）「生活支援ロボット・ドローン」に関係する活動・団体等との連携

埼玉県庁(仮称)ロボティクスセンター等)、国(秩父市周辺等でのドローン実証)、団体(ロボットビジネス支援機構)などの関係者から熊谷市内での実証の提案を受けられる素地づくりに取り組むことを検討。

埼玉県ロボティクスネットワーク



SAITAMAロボティクスセンター（仮称）：令和８年度開所見込み



まちづくり社会実装コンソーシアム

2024年6月14日、秩父市において「まちづくり社会実装コンソーシアム設立準備会」を秩父市で開催し、多くの民間業者や自治体関係者が参加。
（秩父市は、2023年に経済産業省が策定した「デジタルライフライン全国総合整備計画」の中の「アーリーハーベストプロジェクト」の1つである「ドローン航路」の設定に関して先行地域に選定されている。）



※デジタルライフライン全国総合整備計画
https://www.meti.go.jp/policy/mono_info_service/digital_architecture/lifeline.html

NPO法人　ロボットビジネス支援機構｜RobiZy





（参考）「生活支援ロボット・ドローン」に関する取組み（調整・検討中）

・市内企業等と連携し、生活支援ロボット・ドローン等の実証を受け入れやすい環境づくり、新たな運用の開発などについて可能性を探る。
・市民がまちなかで各種ロボット・ドローンに触れる機会の拡大にも着手。(中央公園イベントでの芝刈りロボットの展示、星川通りでの追従型ロボットの展示、星渓園での水中用ドローン展示などを調整・検討中。)
・ロボット・ドローンに関する上記の取組みにおいては、自動運転のビリティ、スマート農業等の普及促進や運用支援につながる可能性も意識して取り組む。

芝刈りロボット



追従型の運搬支援ロボット

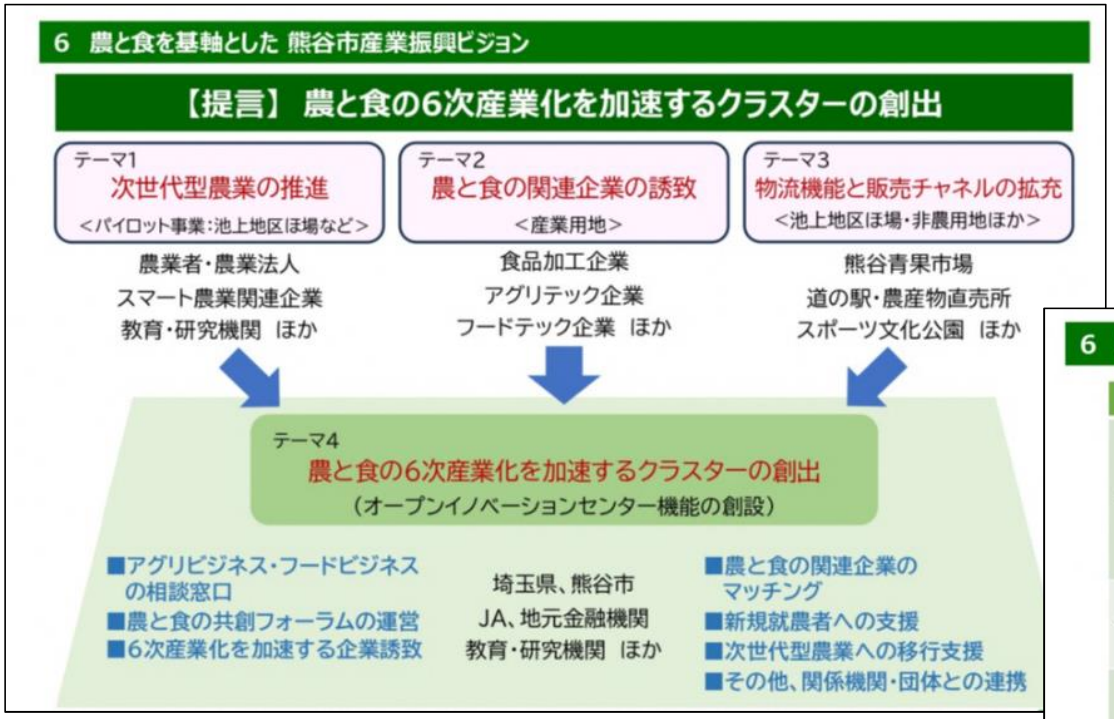


水中用ドローン



【参考】提言「農と食を基軸とした熊谷市産業振興ビジョン」

（株式会社まちづくり熊谷より。市役所Webサイトに掲載済み。）





6 農と食を基軸とした 熊谷市産業振興ビジョン

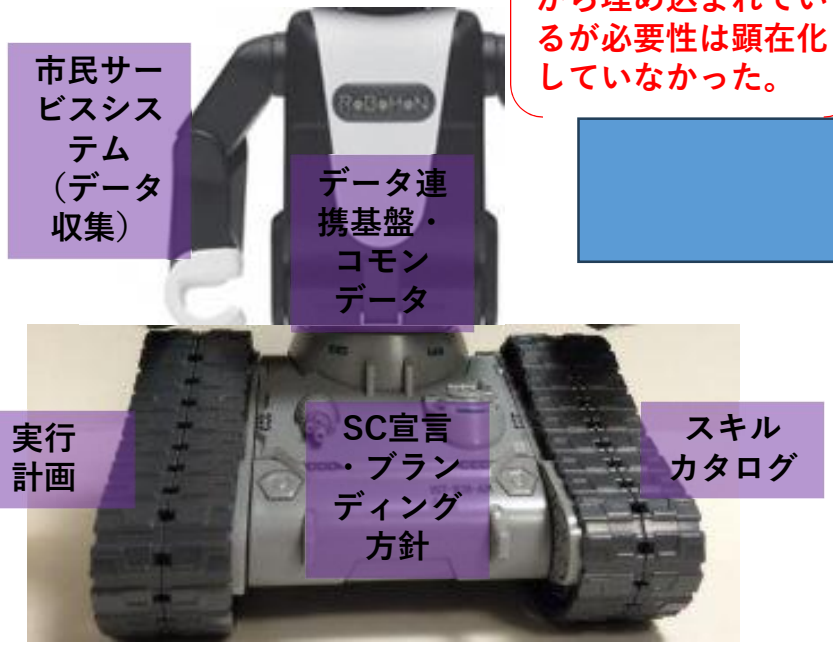
	提言	場 所	主たる担い手	役割・機能など
テーマ1	次世代型農業の推進	市内農地 <パイロット事業> 池上地区ほ場など	□ 農業者、農業法人 □ スマート農業関連企業 □ 教育・研究機関 （埼玉県農業大学校、埼玉県農業技術研究センター）ほか	① 農業DXを取り入れた米麦生産の実証 ② 次世代型大規模施設園芸による栽培の実証 ③ 大規模ほ場整備、主たる担い手への集約推進
テーマ2	農と食の関連企業の誘致	産業用地	□ 食品加工企業 □ アグリテック企業 □ フードテック企業 ほか	① 6次産業化を加速する関連企業の誘致促進
テーマ3	物流機能と販売チャネルの拡充	新青果市場集客施設 池上地区ほ場・非農用地ほか	□ 熊谷青果市場 □ 熊谷市（道の駅）JA（農産物直売所） □ 埼玉県（スポーツ文化公園）ほか	① 保管・加工・物流を備えた青果市場の機能拡充 ② 道路と鉄道の結節によるモーダルコンビネーションの検討 ③ 道の駅、農産物特売所、スポーツ文化公園などとの連携強化による販売チャネルの拡充
テーマ4	農と食の6次産業化を加速する産業クラスターの創出（オープンイノベーションセンター機能の創設）		□ 埼玉県、熊谷市 □ ＪＡ、地元金融機関 □ 教育・研究機関 （埼玉県農業大学校、埼玉県農業技術研究センター）ほか	① アグリビジネス、フードビジネスの相談窓口 ② 農と食の共創フォーラムの運営 ③ 次世代型農業への移行支援 ④ 産学官金連携によるイノベーションの推進

（参考資料）

初期実装状態と、令和６年度末に向けて目指していく全体像（案）

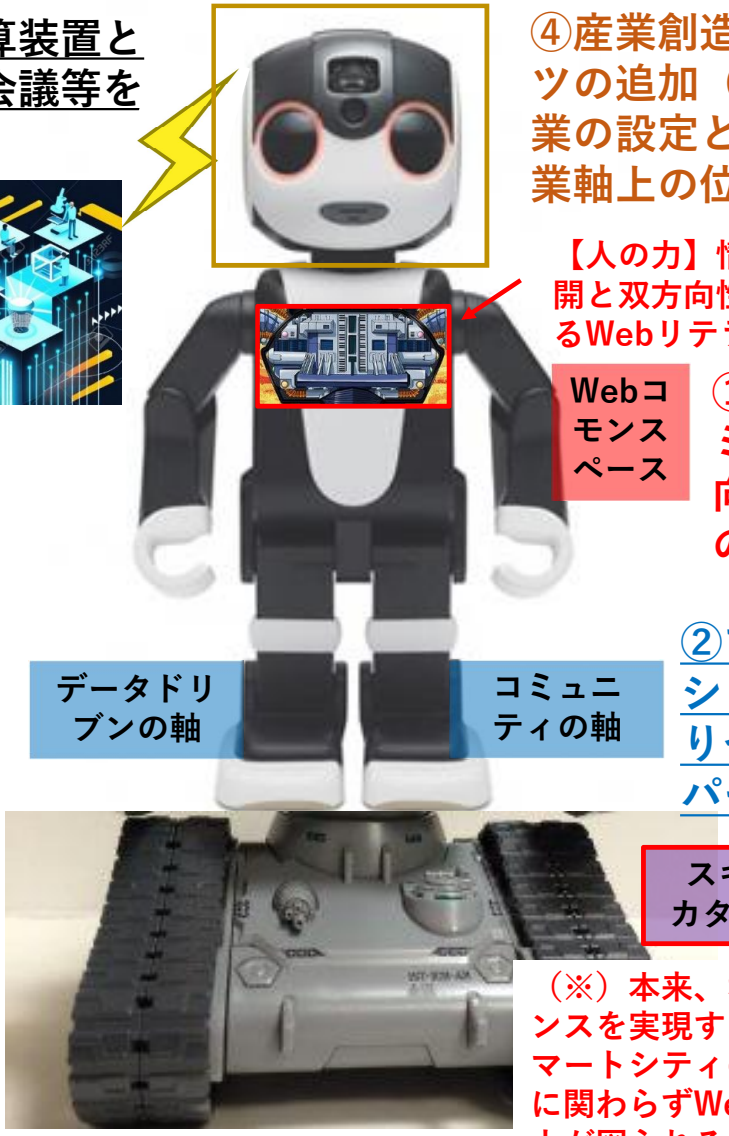
令和６年度初頭の時点で、追加パーツの整備がうまくいかなくても、行政サービス型スマートシティとしては一定の機能を確保することを目指してきたところ。

Webリテラシーは元から埋め込まれているが必要性は顕在化していなかった。



③外部演算装置として戦略会議等を再設定





④産業創造向けパーツの追加（新時代産業の設定と人口・産業軸上の位置づけ）

①Webコミュニティ向けパーツの追加

②プロポーションの分かりやすさ向けパーツを追加

（※）本来、オープンガバナンスを実現する一部としてスマートシティの取組みの有無に関わらずWebリテラシー向上が図られるべき。

（※）本シートの画像は著作権未処理のため関係者限り。

［仮称］「熊谷市ドローン・ロボット・インフラ３D画像会議」について（案２）

以下①～⑦の、今後建設部との連携が必要となると見込まるテーマについて、情報を共有し、市役所としての対応方針を調整する会議として上記会議の設置を検討。（通常は①②「ドローン」、③「ロボット」、④⑤「モビリティ」、⑥「インフラ３D画像」の４班に分かれて活動することを想定）

①ドローン・発着実験チーム	河川課・（スマートシティ班）
②ドローン・産業チーム	企業活動支援課・スマートシティ班
（※）個別政策へのドローン活用に関しては②チームに担当課（危機管理課など）を追加	
③生活支援ロボットチーム	企業活動支援課・（スマートシティ班）
④グリーンスローモビリティチーム	まちなか再生担当・（スマートシティ班）・（交通担当） （注）小型モビリティは自動化の必要性を念頭に、Ｒ８年度以降、③の一部で取り扱うことを想定。
⑤（自動運転チーム）	スマートシティ班・交通担当
⑥インフラ３D画像活用チーム	維持課・（スマートシティ班）

【参考】

⑦クールシティデータ活用チーム	環境政策課（暑さ対策）・スマートシティ班（システム・データ連携）・（起業に関しては企業活動支援課）
⑧クールシティまちなか実装チーム	環境政策課・まちなか再生担当

（参考）スマートシティ関係政策紹介URL

①スマートクールシティWS特設ページ
（R6年度実施内容を随時更新中）



②暑さ対策スマートパッケージ解説動画



③クールシティの横展開等解説動画



④日経BP「新・公民連携最前線」記事（コラム企画「どうなる？ニッポンのスマートシティ」内）
「持続性のあるスマートシティ施策には“土台”づくりが不可欠」

